

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re Patent Application of:

Tetsushi KOBAYASHI, et al.

Application No.:

Group Art Unit:

Filed: February 26, 2002

Examiner:

For: METHOD OF SELLING PRODUCT ONLINE AND COMPUTER PRODUCT

**SUBMISSION OF CERTIFIED COPY OF PRIOR FOREIGN
APPLICATION IN ACCORDANCE
WITH THE REQUIREMENTS OF 37 C.F.R. § 1.55**

Assistant Commissioner for Patents
Washington, D.C. 20231

Sir:

In accordance with the provisions of 37 C.F.R. § 1.55, the applicant(s) submit(s) herewith a certified copy of the following foreign application:

Japanese Patent Application No. 2001-340808

Filed: November 6, 2001

It is respectfully requested that the applicant(s) be given the benefit of the foreign filing date(s) as evidenced by the certified papers attached hereto, in accordance with the requirements of 35 U.S.C. § 119.

Respectfully submitted,

STAAS & HALSEY LLP

Date: February 26, 2002

By: 

James D. Halsey, Jr.
Registration No. 22,729

700 11th Street, N.W., Ste. 500
Washington, D.C. 20001
(202) 434-1500

日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

PTA-01040-05
#2
JC971 U.S. PTO
10/083488
02/27/02

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office

出願年月日
Date of Application: 2001年11月 6日

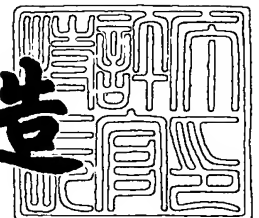
出願番号
Application Number: 特願2001-340808
[ST.10/C]: [JP2001-340808]

出願人
Applicant(s): 富士通株式会社

2002年 1月18日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3117350

【書類名】 特許願

【整理番号】 0151137

【提出日】 平成13年11月 6日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 19/00

【発明の名称】 商品販売方法および商品販売プログラム

【請求項の数】 10

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区海岸3丁目9番15号 株式会社ジー・サーチ内

 【氏名】 小林 徹史

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区海岸3丁目9番15号 株式会社ジー・サーチ内

 【氏名】 小田 敏彦

【特許出願人】

 【識別番号】 000005223

 【氏名又は名称】 富士通株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100089118

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 酒井 宏明

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 036711

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9717671

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 商品販売方法および商品販売プログラム

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 複数の商品の情報からなる商品カタログに基づいて、複数の販売店で商品をオンラインで販売する商品販売方法において、

販売店毎に販売不可である販売不可商品を管理する販売不可商品管理工程と、

購入者が前記商品カタログより選択した商品が、前記購入者がオンライン訪問した販売店で前記販売不可商品である場合、当該商品を販売可能な他の販売店に前記購入者を紹介する紹介工程と、

を含むことを特徴とする商品販売方法。

【請求項 2】 前記販売不可商品管理工程では、少なくとも購入者が前記商品カタログより商品を選択したことをトリガとして、前記販売不可商品の管理情報を更新することを特徴とする請求項 1 に記載の商品販売方法。

【請求項 3】 前記複数の販売店のうち、自販売店で販売可能であってかつ他販売店で販売不可である品薄商品を管理する品薄商品管理工程を含み、前記紹介工程では、前記品薄商品の情報に基づいて、当該商品を販売可能な他の販売店に前記購入者を紹介することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の商品販売方法。

【請求項 4】 前記品薄商品管理工程では、少なくとも購入者が前記商品カタログより商品を選択したことをトリガとして、前記品薄商品の管理情報を更新することを特徴とする請求項 3 に記載の商品販売方法。

【請求項 5】 紹介先の販売店から紹介元の販売店への紹介料を精算する紹介料精算工程を含むことを特徴とする請求項 1 ～ 4 のいずれか一つに記載の商品販売方法。

【請求項 6】 購入者が前記商品カタログより選択した商品が、前記購入者がオンライン訪問した販売店で前記販売不可商品である場合、当該商品をメーカーに発注するメーカー発注工程と、前記紹介工程または前記メーカー発注工程のいずれかを選択する選択工程とを含むことを特徴とする請求項 1 ～ 5 のいずれか一つに記載の商品販売方法。

【請求項 7】 複数の商品の情報からなる商品カタログに基づいて、複数の販売店で商品をオンラインで販売する商品販売方法において、

販売店毎に販売不可である販売不可商品を管理する販売不可商品管理工程と、

購入者が前記商品カタログより選択した商品が、前記購入者がオンライン訪問した販売店で前記販売不可商品である場合、当該商品を販売可能な他の販売店から入荷するための入荷処理を実行する入荷工程と、

を含むことを特徴とする商品販売方法。

【請求項 8】 前記複数の販売店のうち、自販売店で販売可能であってかつ他販売店で販売不可である品薄商品を管理する品薄商品管理工程を含み、前記入荷工程では、前記品薄商品の情報に基づいて、当該商品を販売可能な他の販売店から入荷するための入荷処理を実行することを特徴とする請求項 7 に記載の商品販売方法。

【請求項 9】 複数の商品の情報からなる商品カタログに基づいて、複数の販売店で商品をオンラインで販売するための商品販売プログラムであって、

コンピュータを、

販売店毎に販売不可である販売不可商品を管理する販売不可商品管理手段、

購入者が前記商品カタログより選択した商品が、前記購入者がオンライン訪問した販売店で前記販売不可商品である場合、当該商品を販売可能な他の販売店に前記購入者を紹介する紹介手段、

として機能させるための商品販売プログラム。

【請求項 10】 複数の商品の情報からなる商品カタログに基づいて、複数の販売店で商品をオンラインで販売するための商品販売プログラムであって、

コンピュータを、

販売店毎に販売不可である販売不可商品を管理する販売不可商品管理手段、

購入者が前記商品カタログより選択した商品が、前記購入者がオンライン訪問した販売店で前記販売不可商品である場合、当該商品を販売可能な他の販売店から入荷するための入荷処理を実行する入荷手段、

として機能させるための商品販売プログラム。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】

本発明は、複数の商品の情報からなる商品カタログに基づいて、複数の販売店で商品をオンラインで販売する商品販売方法および商品販売プログラムに関するものであり、特に、購入者の利便性を高めることができるとともに、商品販売を活性化させることができる商品販売方法および商品販売プログラムに関するものである。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】

図 2 8 は、従来の商品販売システムの構成を示すブロック図である。同図において、商品カタログサーバ 1 0 は、ネットワーク 2 0 に接続されており、複数の商品のそれぞれのメーカからの製品リリース情報の集合体である商品カタログを商品カタログサイト 1 1 を介して、ネットワーク 2 0 上の複数の消費者へ提供するサーバである。

【 0 0 0 3 】

商品カタログ情報データベース 1 2 は、商品カタログを構成する複数の商品に関する商品識別番号、商品名、メーカ名、メーカコード、価格、発売日等からなる商品カタログ情報を格納するデータベースである。

【 0 0 0 4 】

販売店サーバ 3 0₁ ~ 3 0_n のそれぞれは、販売店 A ~ 販売店 N により運用されるサーバであり、上述した商品カタログに掲載されている商品を販売店サイト 3 1₁ ~ 3 1_n を介して消費者に販売する。これらの販売店 A ~ 販売店 N は、商品カタログサイト 1 1 の加盟店であり、同一経営組織に属さない独立店舗である。

【 0 0 0 5 】

ここで、注意すべき点は、販売店 A ~ 販売店 N では、商品カタログに掲載されている全ての商品を必ずしも取り扱っていないことである。すなわち、商品カタログは、販売店とメーカとの取引の有無にかかわらず、複数のメーカから提供される製品リリース情報に基づいて構成されている。

【 0 0 0 6 】

従って、販売店では、取引が無いメーカーの商品の在庫が無いという事態が頻繁に生じる。このことから、ある商品に関しては、ある販売店では販売可能（在庫有り）であるが、別の販売店では、販売不可（在庫無し）という事態が生じる。

【 0 0 0 7 】

消費者クライアント $40_1 \sim 40_m$ のそれぞれは、ネットワーク 200 に接続されており、 m 人の消費者側に設置されたクライアントである。これらの消費者クライアント $40_1 \sim 40_m$ のそれぞれは、販売店サイト $31_1 \sim 31_n$ のうちいずれかの販売店サイトおよび商品カタログサイト 11 を介して、販売店 A ～販売店 N のうちいずれかの販売店から商品をオンライン購入するためのクライアントである。

【 0 0 0 8 】

上記構成において、例えば、消費者クライアント 40_1 が販売店サーバ 30_1 （販売店サイト 31_1 ）にアクセスすると、販売店サーバ 30_1 は、図 29 に示した検索メニュー画面 50 を消費者クライアント 40_1 に表示させる。ここで、検索メニュー画面 50 の「商品の検索」がクリックされると、販売店サーバ 30_1 は、消費者クライアント 40_1 のリンク先を商品カタログサイト 11 にジャンプさせる。

【 0 0 0 9 】

これにより、商品カタログサーバ 10 は、検索画面 51（具体例：図 30 に示した検索画面 59）を消費者クライアント 40_1 に表示させる。この検索画面 51 は、商品名等を検索キーとして商品カタログ情報データベース 12（商品カタログ）を検索するための画面である。そして、検索キーが入力された後、検索ボタン 52 が押下されると、商品カタログサーバ 10 は、検索キーに基づいて、商品カタログ情報データベース 12 を検索し、検索結果画面 53（具体例：図 30 に示した検索結果画面 60）を消費者クライアント 40_1 に表示させる。

【 0 0 1 0 】

この検索結果画面 53 には、検索結果としての商品一覧（商品 A、商品 B および商品 C）が表示されている。そして、消費者により商品一覧の中から注文対象

の商品が選択されると、商品カタログサーバ10は、注文画面54（具体例：図30に示した注文画面61）を消費者クライアント40₁に表示させる。この注文画面54は、選択された商品を注文するための画面である。

【0011】

そして、注文ボタン55が押下されると、商品カタログサーバ10は、当該商品が販売店Aで取り扱っているか否かを販売店サーバ30₁に問い合わせ、取り扱っている場合、購入画面56（具体例：図30に示した購入画面62）を消費者クライアント40₁に表示させる。購入画面56は、当該商品を実際にオンライン購入するための画面である。

【0012】

ここで、購入ボタン57が押下されると、商品カタログサーバ10は、購入対象の商品情報や消費者情報を販売店サイト31₁へ通知する。これにより、販売店Aでは、購入代金の決済、商品の発送処理が実行される。

【0013】

一方、注文画面54で注文された当該商品が販売店Aで取り扱っていない場合、商品カタログサイト11は、取り扱っていない旨のお詫びのメッセージを含む未扱い画面58（具体例：図30に示した未扱い画面63）を消費者クライアント40₁に表示させる。これにより、消費者は、当該販売店Aで商品を手に入れないことを認識した後、別の販売店サーバへアクセスする等して別ルートでの購入を模索する。

【0014】

【発明が解決しようとする課題】

ところで、前述したように、従来の商品販売システムでは、図28に示した商品カタログ情報データベース12に対応する商品の全てが販売店A～販売店Nで販売可能とは限らない。

【0015】

従って、当該販売店で商品の在庫が無い場合には、図29に示した注文画面54で折角注文しても、未扱い画面58により販売不可となってしまうため、購入者からのクレームが多く、また不便であるという問題があった。

【 0 0 1 6 】

また、販売店側にとっても、絶好の販売の機会を損失することになるため、複数の販売店からみれば商品販売の活性化の面で非常に不利となる。

【 0 0 1 7 】

本発明は、上記に鑑みてなされたもので、購入者の利便性を高めることができるとともに、商品販売を活性化させることができる商品販売方法および商品販売プログラムを提供することを目的とする。

【 0 0 1 8 】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明は、複数の商品の情報からなる商品カタログに基づいて、複数の販売店で商品をオンラインで販売する商品販売方法において、販売店毎に販売不可である販売不可商品を管理する販売不可商品管理工程と、購入者が前記商品カタログより選択した商品が、前記購入者がオンライン訪問した販売店で前記販売不可商品である場合、当該商品を販売可能な他の販売店に前記購入者を紹介する紹介工程とを含むことを特徴とする。

【 0 0 1 9 】

また、本発明は、複数の商品の情報からなる商品カタログに基づいて、複数の販売店で商品をオンラインで販売するための商品販売プログラムであって、コンピュータを、販売店毎に販売不可である販売不可商品を管理する販売不可商品管理手段、購入者が前記商品カタログより選択した商品が、前記購入者がオンライン訪問した販売店で前記販売不可商品である場合、当該商品を販売可能な他の販売店に前記購入者を紹介する紹介手段として機能させるための商品販売プログラムである。

【 0 0 2 0 】

かかる発明によれば、購入者が商品カタログより選択した商品が、購入者がオンライン訪問した販売店で販売不可商品である場合、当該商品を販売可能な他の販売店に購入者を紹介するようにしたので、従来のように、折角注文したが商品の在庫が無いため商品の購入ができないという事態を回避することができ、購入者の利便性を高めることができるとともに、販売店における販売機会が増え、商

品販売を活性化させることができる。

【 0 0 2 1 】

また、本発明は、複数の商品の情報からなる商品カタログに基づいて、複数の販売店で商品をオンラインで販売する商品販売方法において、販売店毎に販売不可である販売不可商品を管理する販売不可商品管理工程と、購入者が前記商品カタログより選択した商品が、前記購入者がオンライン訪問した販売店で前記販売不可商品である場合、当該商品を販売可能な他の販売店から入荷するための入荷処理を実行する入荷工程とを含むことを特徴とする。

【 0 0 2 2 】

また、本発明は、複数の商品の情報からなる商品カタログに基づいて、複数の販売店で商品をオンラインで販売するための商品販売プログラムであって、コンピュータを、販売店毎に販売不可である販売不可商品を管理する販売不可商品管理手段、購入者が前記商品カタログより選択した商品が、前記購入者がオンライン訪問した販売店で前記販売不可商品である場合、当該商品を販売可能な他の販売店から入荷するための入荷処理を実行する入荷手段として機能させるための商品販売プログラムである。

【 0 0 2 3 】

かかる発明によれば、購入者が商品カタログより選択した商品が、購入者がオンライン訪問した販売店で販売不可商品である場合、当該商品を販売可能な他の販売店から入荷するための入荷処理を実行するようにしたので、従来のように、折角注文したが商品の在庫が無いため商品の購入ができないという事態を回避することができる、購入者の利便性を高めることができるとともに、販売店における販売機会が増え、商品販売を活性化させることができる。

【 0 0 2 4 】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して本発明にかかる商品販売方法および商品販売プログラムの一実施の形態について詳細に説明する。

【 0 0 2 5 】

図 1 は、本発明にかかる一実施の形態の構成を示すブロック図である。この図

において、商品カタログサーバ 1 0 0 は、ネットワーク 2 0 0 に接続されており、複数の商品のそれぞれのメーカからの製品リリース情報の集合体である商品カタログを商品カタログサイト 1 1 0 を介して、ネットワーク 2 0 0 上の複数の消費者へ提供するサーバである。また、商品カタログサーバ 1 0 0 は、後述する販売店情報、消費者情報、商品カタログ情報、販売不可商品情報、品薄商品情報および紹介情報を管理する。

【 0 0 2 6 】

商品カタログサーバ 1 0 0 において、通信インタフェース 1 0 1 は、所定の通信プロトコルに従って、ネットワーク 2 0 0 を介して外部装置との通信を制御するインタフェースである。制御部 1 0 2 は、各部を制御するものである。この制御部 1 0 2 の動作の詳細については、後述する。Web 画面生成部 1 0 3 は、後述する各種画面を生成する。メモリ 1 0 4 は、各種データを一時的に記憶するデバイスである。

【 0 0 2 7 】

販売店情報データベース 1 2 0 は、商品カタログを利用して商品をオンライン販売する販売店 A ～販売店 N に関する販売店情報を格納するデータベースである。具体的には、販売店情報データベース 1 2 0 は、図 2 に示したように、「販売店識別番号」、「販売店名」、「注文送信先 URL (Uniform Resource Locator)」、「その他」等のフィールドを備えている。

【 0 0 2 8 】

「販売店識別番号」は、販売店 A ～販売店 N をそれぞれ識別するための番号である。「販売店名」は、販売店 A ～販売店 N のそれぞれの名称である。「注文送信先 URL」は、消費者により商品が注文された際に注文情報等を商品カタログサーバ 1 0 0 から送信する際の URL である。「その他」は、各種情報である。ここで、販売店 A ～販売店 N は、商品カタログサイト 1 1 0 の加盟店であり、同一経営組織に属さない独立店舗である。

【 0 0 2 9 】

図 1 に戻り、消費者情報データベース 1 3 0 は、販売店サイト経由で会員登録された消費者に関する消費者情報を格納するデータベースである。具体的には、

消費者情報データベース130は、図3に示したように、「消費者識別番号」、「販売店識別番号」、「認証用パスワード」、「その他」等のフィールドを備えている。

【0030】

「消費者識別番号」は、消費者を識別するための番号である。「販売店識別番号」は、図2に示した「販売店識別番号」に対応しており、当該消費者が会員登録を行った販売店を識別するための番号である。「認証用パスワード」は、当該消費者が会員であるか否かを認証するためのパスワードである。「その他」は、各種情報である。

【0031】

図1に戻り、商品カタログ情報データベース140は、商品カタログを構成する複数の商品に関する商品識別番号、商品名、メーカー名、メーカーコード、価格、発売日等からなる商品カタログ情報を格納するデータベースである。

【0032】

具体的には、商品カタログ情報データベース140は、図4に示したように、「商品識別番号」、「商品名」、「メーカー名」、「メーカーコード」、「価格」、「発売日」、「商品コメント」、「商品ジャンル」、「その他」等のフィールドを備えている。

【0033】

「商品識別番号」は、商品を識別するための番号である。「商品名」は、商品の名称である。「メーカー名」は、当該商品を製造しているメーカーの名称である。

「メーカーコード」は、メーカーを識別するためのコードである。「価格」は、販売店での商品の販売価格である。「発売日」は、商品の発売日である。「商品コメント」は、商品のコメントである。「商品ジャンル」は、商品が属するジャンルである。「その他」は、商品の詳細情報（曲名、アーティスト名等）である。

【0034】

ここで、注意すべき点は、販売店A～販売店Nでは、商品カタログに掲載されている全ての商品を必ずしも取り扱っていないことである。従って、販売店では、従来と同様にして、取引が無いメーカーの商品の在庫が無いという事態が頻繁に

生じる。しかしながら、一実施の形態では、後述するように、在庫が無い商品に関して他店を紹介したり、メーカーに発注することにより、消費者が別の方法により商品を購入する機会を提供する。

【 0 0 3 5 】

図 1 に戻り、販売不可商品情報データベース 1 5 0 は、販売店 A ～販売店 N のそれぞれについて、商品カタログに掲載されている複数の商品のうち、自店で販売できない（在庫無し）商品に関する販売不可商品情報を格納するデータベースである。

【 0 0 3 6 】

具体的には、販売不可商品情報データベース 1 5 0 は、図 5 に示したように、「商品識別番号」、「登録販売店」、「登録日付」等のフィールドを備えている。「商品識別番号」は、当該販売店で販売不可の商品を識別するための番号である。「登録販売店」は、当該商品を販売可能な販売店の名称である。「登録日付」は、販売不可商品情報データベース 1 5 0 に販売不可商品情報を登録した日付である。

【 0 0 3 7 】

図 1 に戻り、品薄商品情報データベース 1 6 0 は、販売店 A ～販売店 N のそれぞれについて、自店で販売可能（在庫有り）であって、かつ他店で販売不可（在庫無し）という品薄状態にある商品（以下、品薄商品と称する）に関する品薄商品情報を格納するデータベースである。ただし、品薄商品情報データベース 1 6 0 へ品薄商品情報を登録するタイミングのズレにより、同一の商品に関して複数の販売店で販売可能な状態となる場合がある。

【 0 0 3 8 】

具体的には、品薄商品情報データベース 1 6 0 は、図 6 に示したように、「商品識別番号」、「登録販売店」、「登録日付」等のフィールドを備えている。「商品識別番号」は、品薄商品を識別するための番号である。「登録販売店」は、当該品薄商品を販売可能な販売店の名称である。「登録日付」は、品薄商品情報データベース 1 6 0 に品薄商品情報を登録した日付である。

【 0 0 3 9 】

図 1 に戻り、紹介情報データベース 1 7 0 は、自店で商品が販売不可（在庫無し）である場合に、当該商品を販売可能な他店に消費者を紹介しかつ当該他店で商品が購入されたときの紹介に関する紹介情報を格納するデータベースである。具体的には、紹介情報データベース 1 7 0 は、図 7 に示したように、「紹介元販売店識別番号」、「紹介先販売店識別番号」、「消費者識別番号」、「紹介日付」等のフィールドを備えている。

【 0 0 4 0 】

「紹介元販売店識別番号」は、上記消費者の紹介元である販売店（自店）の名称である。「紹介先販売店識別番号」は、上記消費者の紹介先である販売店（他店）の名称である。「消費者識別番号」は、紹介対象である上記消費者を識別するための番号である。「紹介日付」は、消費者の紹介があった日付である。

【 0 0 4 1 】

図 1 に戻り、販売店サーバ 3 0 0₁ ～ 3 0 0_n のそれぞれは、販売店 A ～ 販売店 N により運用されるサーバであり、上述した商品カタログに掲載されている商品を販売店サイト 3 1 0₁ ～ 3 1 0_n を介して消費者に販売する。これらの販売店 A ～ 販売店 N は、商品カタログサイト 1 1 0 の加盟店である。

【 0 0 4 2 】

販売店サーバ 3 0 0₁ において、通信インタフェース 3 0 1₁ は、所定の通信プロトコルに従って、ネットワーク 2 0 0 を介して外部装置との通信を制御するインタフェースである。制御部 3 0 2₁ は、各部を制御するものである。この制御部 3 0 2₁ の動作の詳細については、後述する。Web 画面生成部 3 0 3₁ は、後述する各種画面を生成する。メモリ 3 0 4₁ は、各種データを一時的に記憶するデバイスである。

【 0 0 4 3 】

自店販売可能商品情報データベース 3 2 0₁ は、自店（販売店 A）で販売可能（在庫有り）な商品に関する自店販売可能商品情報（当該商品を識別するための商品識別番号、登録日付等）を格納するデータベースである。販売管理情報データベース 3 3 0₁ は、販売店 A における販売管理情報（消費者情報、売り上げ情報等）を格納するデータベースである。

【 0 0 4 4 】

販売店サーバ 3 0 0_n において、通信インタフェース 3 0 1_n は、所定の通信プロトコルに従って、ネットワーク 2 0 0 を介して外部装置との通信を制御するインタフェースである。制御部 3 0 2_n は、各部を制御するものである。この制御部 3 0 2_n の動作の詳細については、後述する。Web 画面生成部 3 0 3_n は、後述する各種画面を生成する。メモリ 3 0 4_n は、各種データを一時的に記憶するデバイスである。

【 0 0 4 5 】

自店販売可能商品情報データベース 3 2 0_n は、自店（販売店 N）で販売可能（在庫有り）な商品に関する自店販売可能商品情報（当該商品を識別するための商品識別番号、登録日付等）を格納するデータベースである。販売管理情報データベース 3 3 0_n は、販売店 N における販売管理情報（消費者情報、売り上げ情報等）を格納するデータベースである。

【 0 0 4 6 】

消費者クライアント 4 0 0₁ ~ 4 0 0_m のそれぞれは、ネットワーク 2 0 0 に接続されており、m 人の消費者側に設置されたクライアントである。これらの消費者クライアント 4 0 0₁ ~ 4 0 0_m のそれぞれは、販売店サイト 3 1 0₁ ~ 3 1 0_n のうちいずれかの販売店サイトおよび商品カタログサイト 1 1 0 を介して、販売店 A ~ 販売店 N のうちいずれかの販売店から商品をオンライン購入するためのクライアントである。

【 0 0 4 7 】

つぎに、一実施の形態の動作について、図 8 ~ 図 1 5 に示したフローチャート、図 1 6 ~ 図 2 6 に示した各種画面を参照しつつ詳述する。図 8 は、図 1 に示した商品カタログサーバ 1 0 0 の動作を説明するフローチャートである。図 1 4 は、図 1 に示した販売店サーバ 3 0 0₁ ~ 3 0 0_n の動作を説明するフローチャートである。

【 0 0 4 8 】

図 8 に示したステップ S A 1 では、商品カタログサーバ 1 0 0 の制御部 1 0 2 は、販売店サーバ 3 0 0₁ ~ 3 0 0_n のうちいずれかの販売店サーバより、販売

不可商品情報データベース150および品薄商品情報データベース160への販売不可商品情報および品薄商品情報の登録要求があるか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。

【0049】

ステップSA2では、制御部102は、販売店サーバ300₁～300_nのうちいずれかの販売店サーバより、消費者情報データベース130への消費者情報の登録要求があるか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。

【0050】

ステップSA3では、制御部102は、販売店サーバ300₁～300_nのうちいずれかの販売店サーバより、後述する販売店サイトから商品カタログサイト110へのジャンプ要求があるか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。以後、制御部102は、ステップSA1～ステップSA3の判断を繰り返す。

【0051】

また、図14に示したステップSG1では、販売店サーバ300₁の制御部302₁は、販売不可商品情報データベース150および品薄商品情報データベース160への販売不可商品情報および品薄商品情報の登録トリガがあるか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。この登録トリガとしては、オペレータからの指示によるものや、タイマ設定によるもの等が挙げられる。

【0052】

ステップSG2では、制御部302₁は、消費者クライアント400₁～400_mのうちいずれかの消費者クライアントより、消費者の会員登録に関する新規登録アクセスがあるか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。

【0053】

ステップSG3では、制御部302₁は、消費者クライアント400₁～400_mのうちいずれかの消費者クライアントより、販売店サイト310₁および商品カタログサイト110を介して商品を購入するための購入アクセスがあるか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。以後、制御部302₁は、ステップSG1～ステップSG3の判断を繰り返す。なお、他の販売店サーバ3

0 0₂ (図示略) ~ 3 0 0_n も上述した販売店サーバ 3 0 0₁ と同様の動作を行う。

【 0 0 5 4 】

そして、販売店 A のオペレータからの指示により、販売不可商品情報および品薄商品情報の登録トリガがあると、販売店サーバ 3 0 0₁ の制御部 3 0 2₁ は、ステップ S G 1 の判断結果を「Y e s」とする。ステップ S G 9 では、制御部 3 0 2₁ は、商品カタログサーバ 1 0 0 へ登録要求を出す。

【 0 0 5 5 】

これにより、商品カタログサーバ 1 0 0 の制御部 1 0 2 は、図 8 に示したステップ S A 1 の判断結果を「Y e s」とする。ステップ S A 8 では、制御部 1 0 2 は、販売店 A に関する販売不可商品情報および品薄商品情報を販売不可商品情報データベース 1 5 0 および品薄商品情報データベース 1 6 0 に登録するための販売不可商品情報および品薄商品情報登録処理を実行する。

【 0 0 5 6 】

具体的には、図 9 に示したステップ S B 1 では、制御部 1 0 2 は、図 5 に示した販売不可商品情報データベース 1 5 0 を参照する。ステップ S B 2 では、制御部 1 0 2 は、販売不可商品情報データベース 1 5 0 において他店が登録した商品のうち自店で登録していない商品（以下、他店販売不可商品と称する）があるか否かを判断し、この判断結果が「N o」である場合、図 8 に示したメインルーチンに戻る。

【 0 0 5 7 】

一方、ステップ S B 2 の判断結果が「Y e s」である場合、ステップ S B 3 では、制御部 1 0 2 は、上述した他店販売不可商品に対応する商品識別番号（販売不可商品情報データベース 1 5 0 (図 5 参照)) をキーとして、商品カタログ情報データベース 1 4 0 から他店販売不可商品に関する商品名を取得する。

【 0 0 5 8 】

つぎに、制御部 1 0 2 は、取得した商品名に基づいて図 1 6 に示した他店販売不可商品一覧画面 5 0 0 を販売店サーバ 3 0 0₁ のディスプレイ (図示略) に表示させる。この他店販売不可商品一覧画面 5 0 0 は、他店販売不可商品の一覧画

面であり、他店販売不可商品に関して自店（この場合、販売店 A）での在庫の有無をチェックするための画面である。ステップ S B 4 では、制御部 1 0 2 は、登録ボタン 5 0 1 が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」として同判断を繰り返す。

【 0 0 5 9 】

また、他店販売不可商品一覧画面 5 0 0 が表示されると、図 1 4 に示したステップ S G 1 0 では、販売店 A のオペレータは、登録処理を実行する。具体的には、オペレータは、自店販売可能商品情報データベース 3 2 0₁ を参照しつつ、他店販売不可商品一覧画面 5 0 0（図 1 6 参照）の在庫有りおよび在庫無しをチェックした後、登録ボタン 5 0 1 を押下する。なお、一実施の形態では、制御部 3 0 2₁ により上記チェックを自動的に実行するようにしてもよい。

【 0 0 6 0 】

また、上記登録ボタン 5 0 1 が押下されると、商品カタログサーバ 1 0 0 の制御部 1 0 2 は、図 9 に示したステップ S B 4 の判断結果を「Y e s」とする。ステップ S B 5 では、制御部 1 0 2 は、図 1 6 に示した他店販売不可商品一覧画面 5 0 0 において在庫有りとチェックされた商品に関する品薄商品情報を、販売店 A に対応付けて品薄商品情報データベース 1 6 0（図 6 参照）に登録する。

【 0 0 6 1 】

ステップ S B 6 では、制御部 1 0 2 は、図 1 6 に示した他店販売不可商品一覧画面 5 0 0 において在庫無しとチェックされた商品に関する販売不可商品情報を、販売店 A に対応付けて販売不可商品情報データベース 1 5 0（図 5 参照）に登録する。

【 0 0 6 2 】

そして、例えば、消費者クライアント 4 0 0₁ から販売店サーバ 3 0 0₁ へ新規登録アクセスがあると、販売店サーバ 3 0 0₁ の制御部 3 0 2₁ は、図 1 4 に示したステップ S G 2 の判断結果を「Y e s」とする。ステップ S G 1 1 では、制御部 3 0 2₁ は、消費者クライアント 4 0 0₁ に対応する消費者の消費者情報を消費者情報データベース 1 3 0 に登録するための消費者情報登録処理を実行する。

【0063】

具体的には、図15に示したステップSH1では、制御部302₁は、消費者情報入力画面（図示略）により、消費者に消費者情報（認証用パスワード、氏名、住所等）を入力させるための消費者情報入力処理を実行する。ステップSH2では、制御部302₁は、消費者クライアント400₁へ消費者識別番号を発行する。ステップSH3では、制御部302₁は、商品カタログサーバ100へ販売店識別番号が付加された消費者情報の登録要求を出すと同時に、販売管理情報データベース330₁に消費者情報を格納する。

【0064】

これにより、商品カタログサーバ100の制御部102は、図8に示したステップSA2の判断結果を「Yes」とする。ステップSA9では、制御部102は、上記消費者情報を消費者情報データベース130（図3参照）に登録する。

【0065】

そして、例えば、消費者クライアント400₁から販売店サーバ300₁へ購入アクセスがあると、販売店サーバ300₁の制御部302₁は、図14に示したステップSG3の判断結果を「Yes」とする。ステップSG4では、制御部302₁は、図17に示した検索メニュー画面600を消費者クライアント400₁に表示させる。

【0066】

ステップSG5では、制御部302₁は、検索メニュー画面600における検索リンク601（「商品の検索」）がクリックされたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」として同判断を繰り返す。そして、消費者により検索リンク601がクリックされると、制御部302₁は、ステップSG5の判断結果を「Yes」とする。

【0067】

ステップSG6では、制御部302₁は、販売店サイト310₁（検索メニュー画面600：図17参照）から商品カタログサイト110（検索画面700：図18参照）へのジャンプ要求を商品カタログサーバ100へ出す。ステップSG7では、制御部302₁は、商品カタログサーバ100より後述する販売可否

確認用の商品情報および消費者識別番号を受信したか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。

【0068】

ステップSG8では、制御部302₁は、後述する販売用の商品情報および消費者識別番号を受信したか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」とする。以後、制御部302₁は、ステップSG7およびステップSG8の判断を繰り返す。

【0069】

また、ステップSG6でジャンプ要求が出されると、商品カタログサーバ100の制御部102は、図8に示したステップSA3の判断結果を「Yes」とする。ステップSA4では、制御部102は、認証画面（図示略）を消費者クライアント400₁に表示させた後、この認証画面より消費者識別番号およびパスワードを消費者に入力させる。

【0070】

ステップSA5では、制御部102は、入力された消費者識別番号およびパスワードをキーとして、消費者情報データベース130（図3参照）を参照して、当該消費者の認証を行った後、認証結果がOKであるか否かを判断する。この判断結果が「No」である場合、制御部102は、ステップSA1以降の判断を行う。

【0071】

この場合、ステップSA5の判断結果が「Yes」であるとする、ステップSA6では、制御部102は、商品購入処理を実行する。具体的には、図10に示したステップSC1では、制御部102は、図18に示した検索画面700を消費者クライアント400₁に表示させる。この検索画面700は、タイトル、アーティスト名等を検索キーとして商品カタログ情報データベース140（図4参照）を検索するための画面である。

【0072】

ステップSC2では、制御部102は、検索キーが入力された後、検索ボタン701（図18参照）が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N

○」として、同判断を繰り返す。そして、消費者により検索キーが入力された後、検索ボタン701が押下されると、制御部102は、ステップSC2の判断結果を「Yes」とする。ステップSC3では、制御部102は、商品カタログ情報データベース140（図4参照）を検索する。

【0073】

ステップSC4では、制御部102は、図19に示した検索結果画面800を消費者クライアント400₁に表示させる。この検索結果画面800には、検索結果としての商品一覧が表示されている。ステップSC5では、制御部102は、消費者により上記商品一覧から注文対象の商品が選択されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」として、同判断を繰り返す。

【0074】

そして、消費者により商品一覧の中から注文対象の商品801が選択されると、制御部102は、ステップSC5の判断結果を「Yes」とする。ステップSC6では、制御部102は、選択された商品801に対応する商品情報（商品識別番号、商品名等）を商品カタログ情報データベース140（図4参照）から取得した後、この商品情報および消費者識別番号を販売可否確認用として販売店サーバ300₁へ送信する。

【0075】

ステップSC7では、制御部102は、販売店サーバ300₁より販売可否情報を受信したか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」として、同判断を繰り返す。

【0076】

そして、販売可否確認用の商品情報および消費者識別番号が販売店サーバ300₁に受信されると、販売店サーバ300₁の制御部302₁は、図14に示したステップSG7の判断結果を「Yes」とする。

【0077】

ステップSG12では、制御部302₁は、商品情報をキーとして自店販売可能商品情報データベース320₁を参照して、自店（販売店A）での当該商品の販売が可能（在庫有り）であるか否かを判断する。なお、消費者識別番号は、販

売店Aで独自に管理しているブラックリストと当該消費者との照合等に用いられる。ステップSG13では、制御部302₁は、ステップSG12の判断に対応する販売可否情報を商品カタログサーバ100へ送信する。

【0078】

そして、上記販売可否情報が商品カタログサーバ100に受信されると、商品カタログサーバ100の制御部102は、図10に示したステップSC7の判断結果を「Yes」とする。ステップSC8では、制御部102は、販売可否情報に基づいて、販売店Aで当該商品の販売が可能であるか否かを判断する。

【0079】

ステップSC8の判断結果が「Yes」である場合、ステップSC14では、制御部102は、当店注文処理を実行する。具体的には、図11に示したステップSD1では、制御部102は、図20に示した当店注文画面900を消費者クライアント400₁に表示させる。この当店注文画面900は、商品801（図19参照）の注文を販売店Aで受け付けるための画面である。また、当店注文画面900には、商品801の詳細情報が表示されている。

【0080】

ステップSD2では、制御部102は、当店注文画面900の当店注文ボタン901が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」として、同判断を繰り返す。そして、消費者により当店注文ボタン901が押下されると、制御部102は、ステップSD2の判断結果を「Yes」とする。

【0081】

ステップSD3では、制御部102は、図21に示した自店購入画面1000を消費者クライアント400₁に表示させる。この自店購入画面1000は、自店（販売店A）で商品801（図19参照）を購入するための画面である。自店購入画面1000には、ショッピングバスケット、合計金額、購入ボタン1001が表示されている。

【0082】

ステップSD4では、制御部102は、購入ボタン1001が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」として、同判断を繰り返す。そして

、消費者により購入ボタン 1 0 0 1 が押下されると、制御部 1 0 2 は、ステップ S D 4 の判断結果を「Y e s」とする。

【 0 0 8 3 】

ステップ S D 5 では、制御部 1 0 2 は、図 2 2 に示した配送情報入力画面 1 1 0 0 を消費者クライアント 4 0 0₁ に表示させる。この配送情報入力画面 1 1 0 0 は、商品 8 0 1（図 1 9 参照）の配送情報（配送先の住所、電話番号等）を消費者に入力させるための画面である。

【 0 0 8 4 】

ステップ S D 6 では、制御部 1 0 2 は、配送情報が入力されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」として、同判断を繰り返す。そして、消費者により配送情報が入力されると、制御部 1 0 2 は、ステップ S D 6 の判断結果を「Y e s」とする。

【 0 0 8 5 】

ステップ S D 7 では、制御部 1 0 2 は、購入対象の商品 8 0 1（図 1 9 参照）に対応する商品情報（商品識別番号、商品名、配送情報等）を商品カタログ情報データベース 1 4 0（図 4 参照）から取得した後、この商品情報および消費者識別番号を販売用として販売店サーバ 3 0 0₁ へ送信する。

【 0 0 8 6 】

そして、販売用の商品情報および消費者識別番号が販売店サーバ 3 0 0₁ に受信されると、販売店サーバ 3 0 0₁ の制御部 3 0 2₁ は、図 1 4 に示したステップ S G 8 の判断結果を「Y e s」とする。ステップ S G 1 4 では、制御部 3 0 2₁ は、商品情報および消費者識別番号に基づいて、商品 8 0 1（図 1 9 参照）を当該消費者に販売するための販売処理（配送、決済等）を実行した後、ステップ S G 1 以降の判断を行う。

【 0 0 8 7 】

一方、図 1 0 に示したステップ S C 8 の判断結果が「N o」である場合、すなわち、販売店 A で商品 8 0 1（図 1 9 参照）の販売が不可能（在庫無し）である場合、ステップ S C 9 では、商品カタログサーバ 1 0 0 の制御部 1 0 2 は、商品 8 0 1 に対応する商品識別番号をキーとして、品薄商品情報データベース 1 6 0

(図 6 参照) を参照する。すなわち、ステップ SC 9 では、販売店 A 以外の他店で商品 8 0 1 が販売可能であるか否かが確認される。

【 0 0 8 8 】

ステップ SC 1 0 では、制御部 1 0 2 は、品薄商品情報データベース 1 6 0 に注文された商品 8 0 1 があるか否かを判断する。この判断結果が「N o」である場合、すなわち、いずれの販売店でも商品 8 0 1 の販売が不可能である場合、ステップ SC 1 5 では、制御部 1 0 2 は、在庫が無いメッセージに関する在庫無画面 (図示略) を消費者クライアント 4 0 0₁ に表示させる。

【 0 0 8 9 】

ステップ SC 1 6 では、制御部 1 0 2 は、商品 8 0 1 (図 1 9 参照) に関する販売不可商品情報を販売店 A に対応付けて、販売不可商品情報データベース 1 5 0 (図 5 参照) に登録する。

【 0 0 9 0 】

一方、ステップ SC 1 0 の判断結果が「Y e s」である場合、言い換えれば、販売店 A 以外の他店で商品 8 0 1 (図 1 9 参照) の販売が可能である場合、ステップ SC 1 1 では、制御部 1 0 2 は、販売店 A に関して、当該商品 8 0 1 に対応する品薄商品情報を品薄商品情報データベース 1 6 0 (図 6 参照) から削除する。ステップ SC 1 2 では、制御部 1 0 2 は、販売店 A に関して、当該商品 8 0 1 に対応する販売不可商品情報を販売不可商品情報データベース 1 5 0 (図 5 参照) に登録する。

【 0 0 9 1 】

ステップ SC 1 3 では、制御部 1 0 2 は、商品 8 0 1 をメーカーに発注、または販売店 A 以外の他店で商品 8 0 1 を注文するためのメーカー発注 / 他店注文処理を実行する。具体的には、図 1 2 に示したステップ SE 1 では、制御部 1 0 2 は、図 2 3 に示したメーカー発注 / 他店注文選択画面 1 2 0 0 を消費者クライアント 4 0 0₁ に表示させる。

【 0 0 9 2 】

このメーカー発注 / 他店注文選択画面 1 2 0 0 は、販売店 A に在庫が無い商品 8 0 1 を、在庫を有する他店に注文するか、または、商品 8 0 1 のメーカーに直接発

注するかを消費者に選択させるための画面である。メーカー発注／他店注文選択画面 1 2 0 0 には、販売店 A に商品 8 0 1（図 1 9 参照）の在庫が無く、販売不可である旨のメッセージ、商品 8 0 1 の詳細情報、他店に注文するための他店注文ボタン 1 2 0 1 およびメーカーに発注するためのメーカー発注ボタン 1 2 0 2 が表示されている。

【 0 0 9 3 】

ステップ S E 2 では、制御部 1 0 2 は、他店注文ボタン 1 2 0 1 またはメーカー発注ボタン 1 2 0 2 が押下されたか否かを判断する。ここで、他店注文ボタン 1 2 0 1 が押下されると、ステップ S E 4 では、制御部 1 0 2 は、品簿商品情報データベース 1 6 0（図 6 参照）から、商品 8 0 1 が販売可能な登録販売店情報（他店の情報）を取得する。

【 0 0 9 4 】

ステップ S E 5 では、制御部 1 0 2 は、ステップ S E 4 で取得した登録販売店情報に基づいて、図 2 4 に示した販売店一覧画面 1 3 0 0 を消費者クライアント 4 0 0₁ に表示させる。この販売店一覧画面 1 3 0 0 には、販売店 A で販売不可である商品 8 0 1 を販売可能な販売店（同図では、販売店 B および販売店 N）の一覧が表示されている。

【 0 0 9 5 】

ステップ S E 6 では、制御部 1 0 2 は、販売店一覧画面 1 3 0 0 の販売店一覧から注文先の販売店が消費者により選択されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「N o」として、同判断を繰り返す。そして、消費者により販売店一覧画面 1 3 0 0 の販売店 N が選択されると、制御部 1 0 2 は、ステップ S E 6 の判断結果を「Y e s」とする。すなわち、この場合には、消費者が販売店 A から販売店 N へ紹介されたのである。

【 0 0 9 6 】

ステップ S E 7 では、制御部 1 0 2 は、上記紹介に関する紹介情報を図 7 に示した紹介情報データベース 1 7 0 に登録する。この場合の紹介情報は、販売店 A に対応する紹介元販売店識別番号と、販売店 N に対応する紹介先販売店識別番号と、商品 8 0 1 を注文した消費者に対応する消費者識別番号と、紹介日付とから

構成されている。

【0097】

ステップSE8では、制御部102は、図25に示した他店購入画面1400を消費者クライアント400₁に表示させる。この他店購入画面1400は、紹介先の他店（販売店N）で商品801（図19参照）を購入するための画面である。他店購入画面1400には、ショッピングバスケット、合計金額、購入ボタン1401が表示されている。

【0098】

ステップSE9では、制御部102は、購入ボタン1401が押下されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」として、同判断を繰り返す。そして、消費者により購入ボタン1401が押下されると、制御部102は、ステップSE9の判断結果を「Yes」とする。

【0099】

ステップSE10では、制御部102は、図22に示した配送情報入力画面1100を消費者クライアント400₁に表示させる。ステップSE11では、制御部102は、配送情報が入力されたか否かを判断し、この場合、判断結果を「No」として、同判断を繰り返す。そして、消費者により配送情報が入力されると、制御部102は、ステップSE11の判断結果を「Yes」とする。

【0100】

ステップSE12では、制御部102は、購入対象の商品801（図19参照）に対応する商品情報（商品識別番号、商品名、配送情報等）を商品カタログ情報データベース140（図4参照）から取得した後、この商品情報および消費者識別番号を販売用として紹介先の販売店サーバ300_nへ送信する。

【0101】

そして、販売用の商品情報および消費者識別番号が販売店サーバ300_nに受信されると、販売店サーバ300_nの制御部302_nは、図14に示したステップSG8の判断結果を「Yes」とする。ステップSG14では、制御部302_nは、商品情報および消費者識別番号に基づいて、商品801（図19参照）を当該消費者に販売するための販売処理（配送、決済等）を実行した後、ステップ

SG 1 以降の判断を行う。

【 0 1 0 2 】

一方、図 2 3 に示したメーカ発注ボタン 1 2 0 2 が押下されると、図 1 2 に示したステップ SE 3 では、制御部 1 0 2 は、商品 8 0 1（図 1 9 参照）をメーカに直接発注するためのメーカ発注処理を実行する。具体的には、制御部 1 0 2 は、メーカ発注対象の商品 8 0 1 に対応する商品情報および消費者情報を、販売店 A に対応する販売店サーバ 3 0 0₁ へ送信する。

【 0 1 0 3 】

これにより、販売店サーバ 3 0 0₁ は、消費者クライアント 4 0 0₁ へメーカ発注の詳細情報（納期等）を送信するとともに、図示しないメーカサーバへ発注情報を送信する。

【 0 1 0 4 】

なお、一実施の形態では、図 2 3 に示したメーカ発注／他店注文選択画面 1 2 0 0 に代えて、図 2 6 に示した他店注文画面 1 5 0 0 により他店注文のみを受け付けるようにしてもよい。この他店注文画面 1 5 0 0 の他店注文ボタン 1 5 0 1 が押下された場合には、図 1 2 に示したステップ SE 4 以降の処理が実行される。

【 0 1 0 5 】

図 8 に示したステップ SA 7 では、商品カタログサーバ 1 0 0 の制御部 1 0 2 は、上述した紹介に関して、紹介先から紹介元へ支払われる紹介料の清算を行うためのトリガ（例えば、オペレータ指示）があるか否かを判断し、この判断結果が「N o」である場合、ステップ SA 1 以降の判断を行う。

【 0 1 0 6 】

この場合、ステップ SA 7 の判断結果が「Y e s」であるとする、ステップ SA 1 0 では、制御部 1 0 2 は、紹介料精算処理を実行する。具体的には、図 1 3 に示したステップ SF 1 では、制御部 1 0 2 は、紹介情報データベース 1 7 0（図 7 参照）から紹介情報を取得する。

【 0 1 0 7 】

ステップ SF 2 では、制御部 1 0 2 は、紹介元の販売店毎に、紹介先の販売店

店から受領すべき紹介料を集計する。この紹介料の例としては、1 紹介あたり固定料金としたり、紹介回数に比例させて紹介料を増額する等が挙げられる。ステップ S F 3 では、制御部 1 0 2 は、電子メール等を介して、紹介先の各販売店にステップ S F 2 で集計された紹介料を請求する。

【0108】

ステップ S F 4 では、制御部 1 0 2 は、電子決済等により紹介先の各販売店からの紹介料を一時預かり金として受領する。ステップ S F 5 では、制御部 1 0 2 は、電子決済等により紹介元の各販売店へ紹介料を分配する。

【0109】

以上説明したように、一実施の形態によれば、購入者が商品カタログ情報データベース 1 4 0 より選択した商品が、購入者がオンライン訪問した販売店（例えば、販売店 A）で販売不可商品である場合、当該商品を販売可能な他の販売店（例えば、販売店 N）に購入者を紹介するようにしたので、従来のように、折角注文したが商品の在庫が無いため商品の購入ができないという事態を回避することができ、購入者の利便性を高めることができるとともに、販売店における販売機会が増え、商品販売を活性化させることができる。

【0110】

また、一実施の形態によれば、少なくとも購入者が商品カタログ情報データベース 1 4 0 より商品を選択したことをトリガとして、販売不可商品情報データベース 1 5 0 および品薄商品情報データベース 1 6 0 を更新するようにしたので、オペレータの手を煩わせることなく販売不可商品情報データベース 1 5 0 および品薄商品情報データベース 1 6 0 のメンテナンスを行うことができる。

【0111】

また、一実施の形態によれば、図 1 3 を参照して説明したように、紹介先の販売店から紹介元の販売店への紹介料を精算するようにしたので、販売店間の提携を強化することができ、さらに商品販売を活性化させることができる。

【0112】

また、一実施の形態によれば、購入者が商品カタログ（商品カタログ情報データベース 1 4 0）より選択した商品が、購入者がオンライン訪問した販売店で販

売不可商品である場合、図 2 3 に示したように、メーカー発注または他店注文のいずれかを選択するようにしたので、複数の購入方法を購入者に提供することができ、購入者の利便性をさらに高めることができる。

【 0 1 1 3 】

以上本発明にかかる一実施の形態について図面を参照して詳述してきたが、具体的な構成例はこの一実施の形態に限られるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲の設計変更等があっても本発明に含まれる。

【 0 1 1 4 】

例えば、前述した一実施の形態においては、商品カタログサーバ 1 0 0、販売店サーバ 3 0 0₁ ~ 3 0 0_n または消費者クライアント 4 0 0₁ ~ 4 0 0_m の機能を実現するためのプログラムを図 2 7 に示したコンピュータ読み取り可能な記録媒体 1 7 0 0 に記録して、この記録媒体 1 7 0 0 に記録されたプログラムを同図に示したコンピュータ 1 6 0 0 に読み込ませ、実行することにより前述した機能を行うようにしてもよい。

【 0 1 1 5 】

コンピュータ 1 6 0 0 は、上記プログラムを実行する CPU (Central Processing Unit) 1 6 1 0 と、キーボード、マウス等の入力装置 1 6 2 0 と、各種データを記憶する ROM (Read Only Memory) 1 6 3 0 と、演算パラメータ等を記憶する RAM (Random Access Memory) 1 6 4 0 と、記録媒体 1 7 0 0 からプログラムを読み取る読取装置 1 6 5 0 と、ディスプレイ、プリンタ等の出力装置 1 6 6 0 と、装置各部を接続するバス 1 6 7 0 とから構成されている。

【 0 1 1 6 】

CPU 1 6 1 0 は、読取装置 1 6 5 0 を経由して記録媒体 1 7 0 0 に記録されているプログラムを読み込んだ後、プログラムを実行することにより、前述した機能を実現する。なお、記録媒体 1 7 0 0 には、光ディスク、フレキシブルディスク、ハードディスク等の可搬型の記録媒体が含まれることはもとより、ネットワークのようにデータを一時的に記録保持するような伝送媒体も含まれる。

【 0 1 1 7 】

また、一実施の形態においては、販売店 A に商品の在庫が無い場合、商品カタ

ログサーバ 1 0 0 の仲介により、商品の在庫がある販売店 N より商品を入荷し、販売店 A の販売店サイト 3 1 0₁ を介して商品を販売してもよい。

【 0 1 1 8 】

この場合にも、従来のように、折角注文したが商品の在庫が無いため商品の購入ができないという事態を回避することができ、購入者の利便性を高めることができるとともに、販売店における販売機会が増え、商品販売を活性化させることができる。

【 0 1 1 9 】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、購入者が商品カタログより選択した商品が、購入者がオンライン訪問した販売店で販売不可商品である場合、当該商品を販売可能な他の販売店に購入者を紹介するようにしたので、従来のように、折角注文したが商品の在庫が無いため商品の購入ができないという事態を回避することができ、購入者の利便性を高めることができるとともに、販売店における販売機会が増え、商品販売を活性化させることができるという効果を奏する。

【 0 1 2 0 】

また、本発明によれば、少なくとも購入者が商品カタログより商品を選択したことをトリガとして、販売不可商品の管理情報を更新するようにしたので、オペレータの手を煩わせることなく販売不可商品の管理情報のメンテナンスを行うことができるという効果を奏する。

【 0 1 2 1 】

また、本発明によれば、複数の販売店のうち、自販売店で販売可能であってかつ他販売店で販売不可である品薄商品を管理し、品薄商品の情報に基づいて、当該商品を販売可能な他の販売店に購入者を紹介するようにしたので、従来のように、折角注文したが商品の在庫が無いため商品の購入ができないという事態を回避することができ、購入者の利便性を高めることができるとともに、販売店における販売機会が増え、商品販売を活性化させることができるという効果を奏する。

【 0 1 2 2 】

また、本発明によれば、少なくとも購入者が商品カタログより商品を選択したことをトリガとして、品薄商品の管理情報を更新するようにしたので、オペレータの手を煩わせることなく品薄商品の管理情報のメンテナンスを行うことができるという効果を奏する。

【 0 1 2 3 】

また、本発明によれば、紹介先の販売店から紹介元の販売店への紹介料を精算するようにしたので、販売店間の提携を強化することができ、さらに商品販売を活性化させることができるという効果を奏する。

【 0 1 2 4 】

また、本発明によれば、購入者が商品カタログより選択した商品が、購入者がオンライン訪問した販売店で販売不可商品である場合、紹介工程またはメーカ発注工程のいずれかを選択するようにしたので、複数の購入方法を購入者に提供することができ、購入者の利便性をさらに高めることができるという効果を奏する。

【 0 1 2 5 】

また、本発明によれば、購入者が商品カタログより選択した商品が、購入者がオンライン訪問した販売店で販売不可商品である場合、当該商品を販売可能な他の販売店から入荷するための入荷処理を実行するようにしたので、従来のように、折角注文したが商品の在庫が無いため商品の購入ができないという事態を回避することができ、購入者の利便性を高めることができるとともに、販売店における販売機会が増え、商品販売を活性化させることができるという効果を奏する。

【 0 1 2 6 】

また、本発明によれば、複数の販売店のうち、自販売店で販売可能であってかつ他販売店で販売不可である品薄商品を管理し、品薄商品の情報に基づいて、当該商品を販売可能な他の販売店から入荷するようにしたので、従来のように、折角注文したが商品の在庫が無いため商品の購入ができないという事態を回避することができ、購入者の利便性を高めることができるとともに、販売店における販売機会が増え、商品販売を活性化させることができるという効果を奏する。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明にかかる一実施の形態の構成を示すブロック図である。

【図 2】

図 1 に示した販売店情報データベース 1 2 0 のテーブル構造を示す図である。

【図 3】

図 1 に示した消費者情報データベース 1 3 0 のテーブル構造を示す図である。

【図 4】

図 1 に示した商品カタログ情報データベース 1 4 0 のテーブル構造を示す図である。

【図 5】

図 1 に示した販売不可商品情報データベース 1 5 0 のテーブル構造を示す図である。

【図 6】

図 1 に示した品薄商品情報データベース 1 6 0 のテーブル構造を示す図である。

【図 7】

図 1 に示した紹介情報データベース 1 7 0 のテーブル構造を示す図である。

【図 8】

図 1 に示した商品カタログサーバ 1 0 0 の動作を説明するフローチャートである。

【図 9】

図 8 に示した販売不可商品情報および品薄商品情報登録処理を説明するフローチャートである。

【図 1 0】

図 8 に示した商品購入処理を説明するフローチャートである。

【図 1 1】

図 1 0 に示した当店注文処理を説明するフローチャートである。

【図 1 2】

図 1 0 に示したメーカ発注／他店注文処理を説明するフローチャートである。

【図 1 3】

図 8 に示した紹介料精算処理を説明するフローチャートである。

【図 1 4】

図 1 に示した販売店サーバ 3 0 0₁ ~ 3 0 0_n の動作を説明するフローチャートである。

【図 1 5】

図 1 4 に示した消費者情報登録処理を説明するフローチャートである。

【図 1 6】

同一実施の形態における他店販売不可商品一覧画面 5 0 0 を示す図である。

【図 1 7】

同一実施の形態における検索メニュー画面 6 0 0 を示す図である。

【図 1 8】

同一実施の形態における検索画面 7 0 0 を示す図である。

【図 1 9】

同一実施の形態における検索結果画面 8 0 0 を示す図である。

【図 2 0】

同一実施の形態における当店注文画面 9 0 0 を示す図である。

【図 2 1】

同一実施の形態における自店購入画面 1 0 0 0 を示す図である。

【図 2 2】

同一実施の形態における配送情報入力画面 1 1 0 0 を示す図である。

【図 2 3】

同一実施の形態におけるメーカー発注／他店注文選択画面 1 2 0 0 を示す図である。

【図 2 4】

同一実施の形態における販売店一覧画面 1 3 0 0 を示す図である。

【図 2 5】

同一実施の形態における他店購入画面 1 4 0 0 を示す図である。

【図 2 6】

同一実施の形態における他店注文画面 1 5 0 0 を示す図である。

【図 2 7】

同一実施の形態の変形例の構成を示すブロック図である。

【図 2 8】

従来の商品販売システムの構成を示すブロック図である。

【図 2 9】

従来の商品販売システムにおける画面遷移を説明する図である。

【図 3 0】

従来の商品販売システムにおける画面遷移を説明する図である。

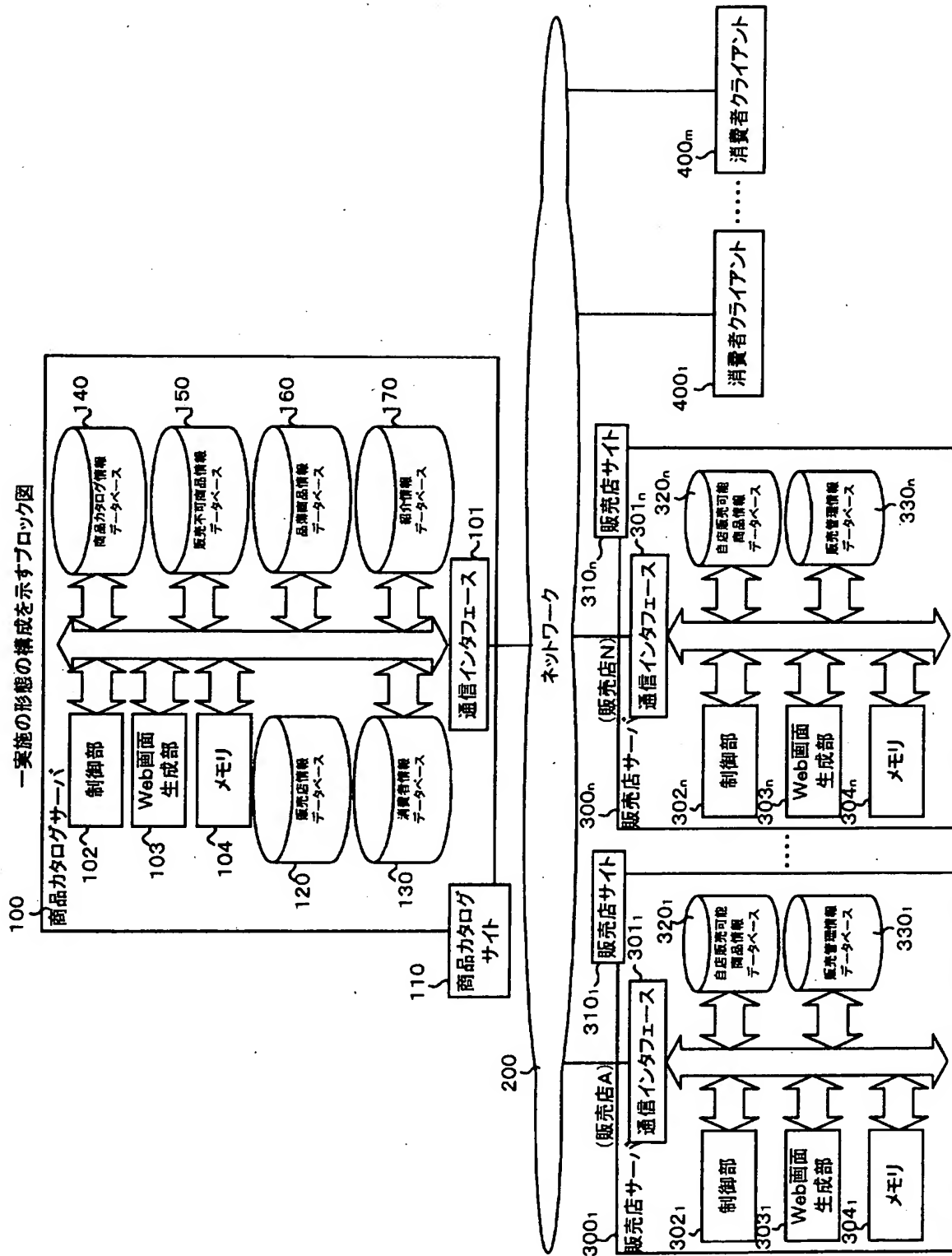
【符号の説明】

- 1 0 0 商品カタログサーバ
- 1 1 0 商品カタログサイト
- 1 0 2 制御部
- 2 0 0 ネットワーク
- 3 0 0₁ ~ 3 0 0_n 販売店サーバ
- 3 0 2₁ ~ 3 0 2_n 制御部
- 3 1 0₁ ~ 3 1 0_n 販売店サイト
- 4 0 0₁ ~ 4 0 0_m 消費者クライアント

【書類名】

図面

【図 1】



【図 2】

図1に示した販売店情報データベース120のテーブル構造を示す図

120

販売店識別番号	販売店名	注文送信先URL	その他
SHOP001	販売店A	https://shop/basket

【図 3】

図 1 に示した消費者情報データベース 130 のテーブル構造を示す図

130

消費者識別番号	販売店識別番号	認証用パスワード	その他
USER00001	SHOP001	passwd

【図 4】

図 1 に示した商品カタログ情報データベース 140 のテーブル構造を示す図

140

項目	例 1 (音楽 CD)	例 2 (書籍)	
商品識別番号	ESCB-2230	ISBN 4756137555	
商品名	The Great Escape - JUDY AND MAMY	デジタルテレビ日米戦争	
メーカー名	EPIC・ソニー	イスキー	
メーカーコード	ESCB	ascii	
価格	2800	2800	
発売日	2001/05/23	2001/05/20	
商品コメント	デビューから 8 年間、常にトップの……	国際メディアの攻防は、もう世……	
商品ジャンル	邦楽ポップス	ビジネス	
その他	曲名 アーティスト名 レーベル名 録音データ 総時間 メディア……	ページ数 著者 目次 翻訳者	

【図 5】

図 1 に示した販売不可商品情報データベース 150 のテーブル構造を示す図

150

商品識別番号	登録販売店	登録日付
0000000001	販売店 A	2001 / 05 / 23
0000000002	販売店 B	2001 / 05 / 24

【図 6】

図 1 に示した品簿商品情報データベース 160 のテーブル構造を示す図

160

商品識別番号	登録販売店	登録日付
0000000002	販売店 A	2001/04/12
0000000001	販売店 B	2001/04/14

【図 7】

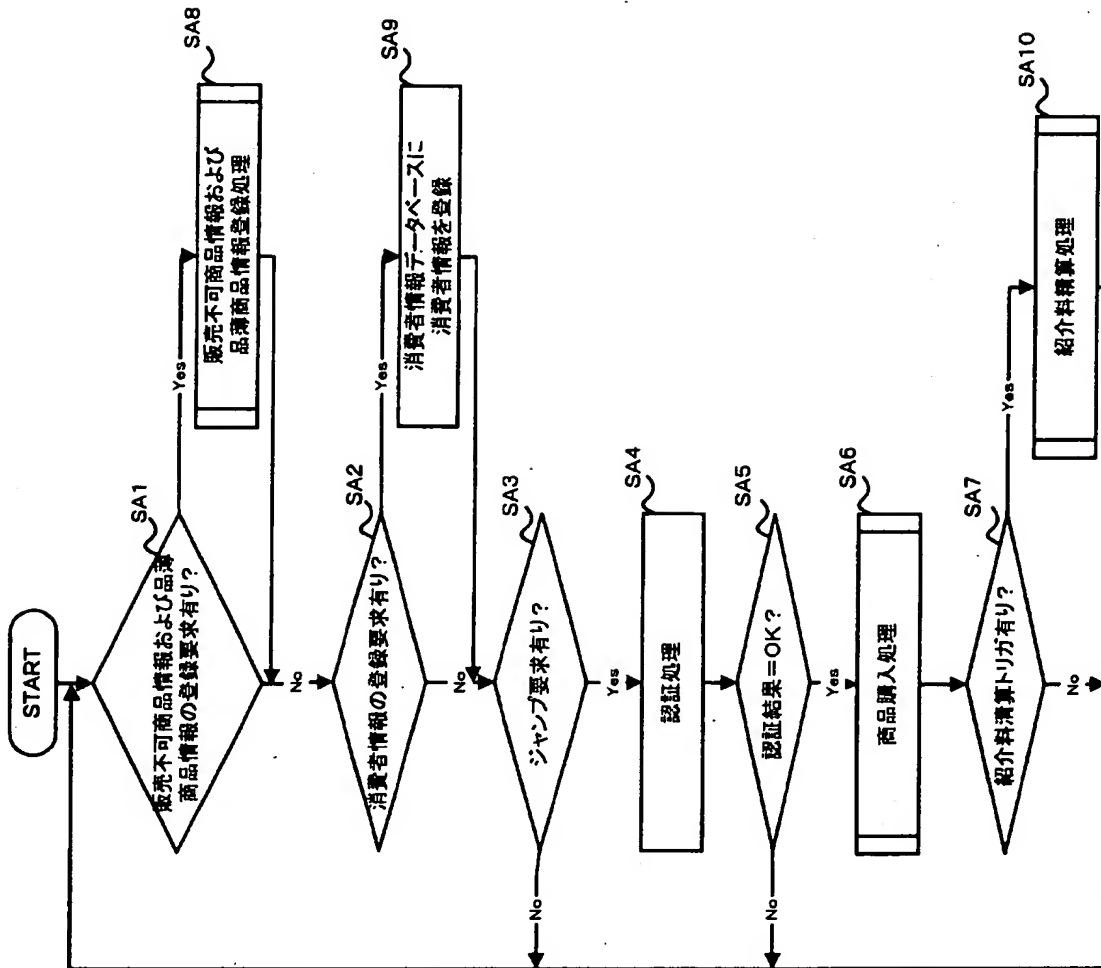
図1に示した紹介情報データベース170のテーブル構造を示す図

170

紹介元販売店識別番号	紹介先販売店識別番号	消費者識別番号	紹介日付
SHOP001	SHOP002	USER00001	2001-06-05

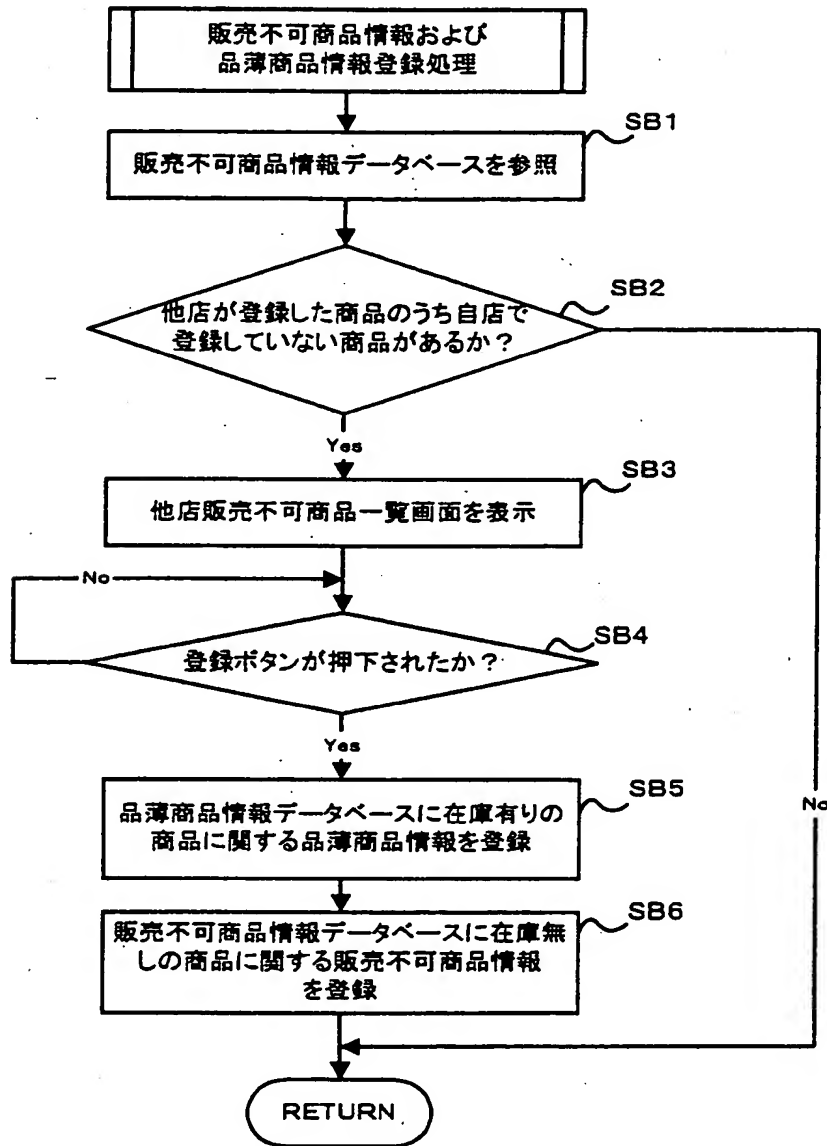
【図 8】

図 1 に示した商品カタログサーバ 100 の動作を説明するフローチャート



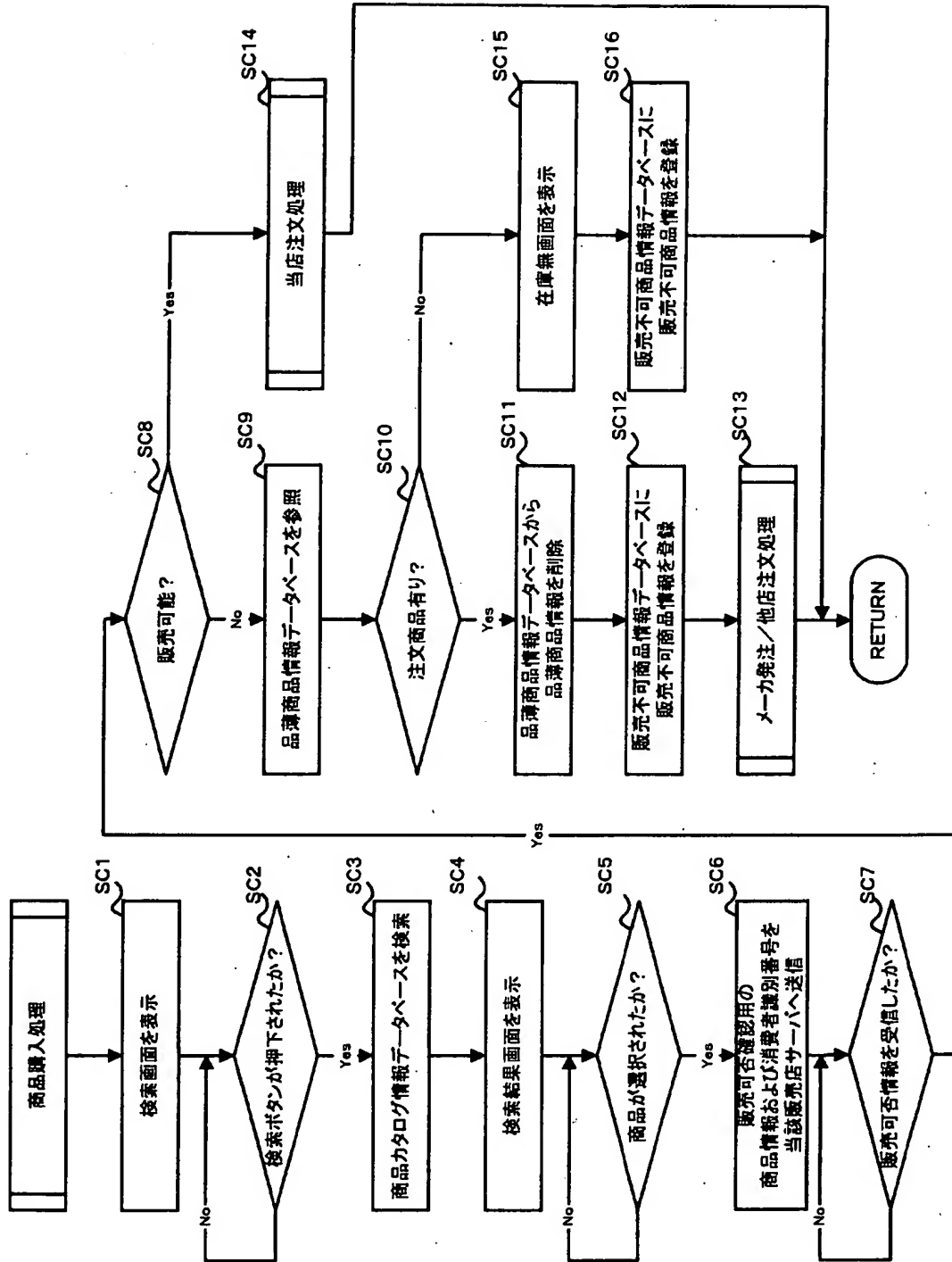
【図9】

図8に示した販売不可商品情報および品薄商品情報登録処理を説明するフローチャート



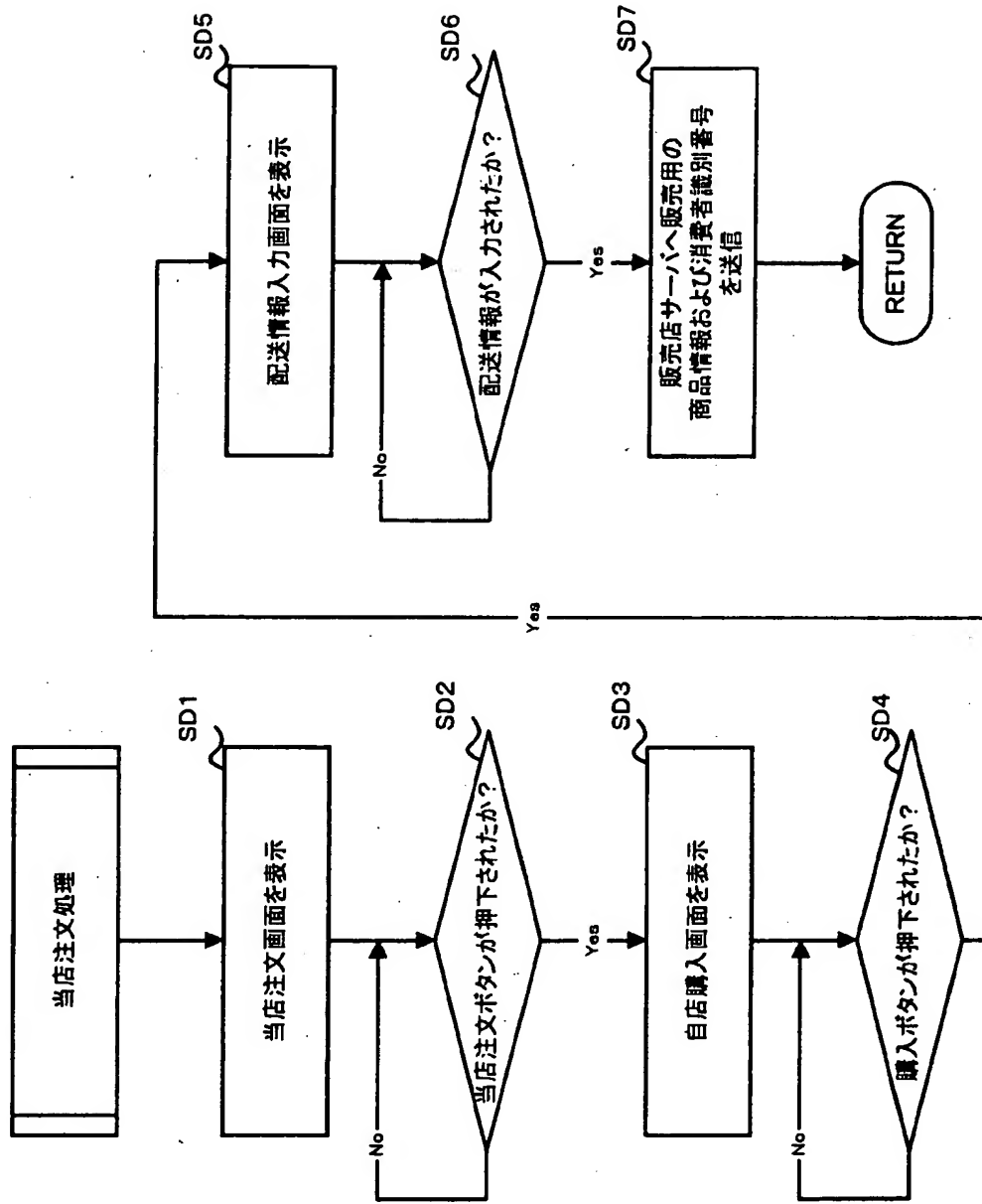
【図 10】

図8に示した商品購入処理を説明するフローチャート



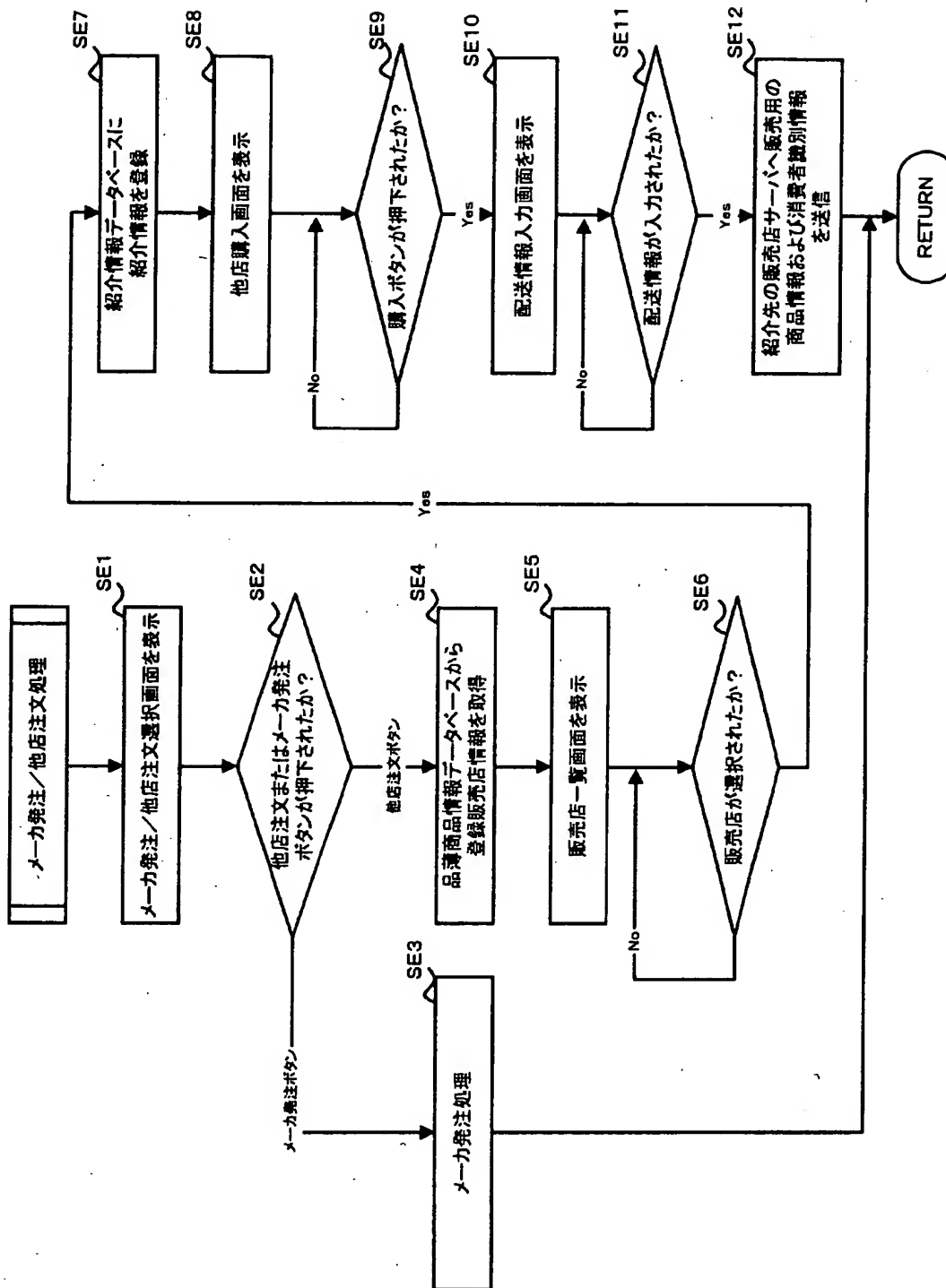
【図 11】

図10に示した当店注文処理を説明するフローチャート



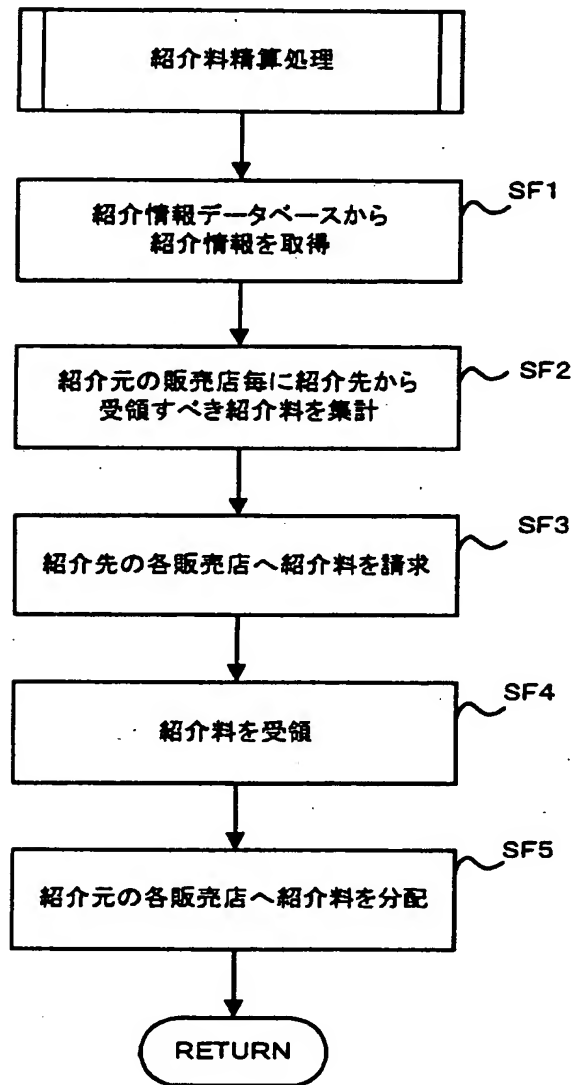
【図 12】

図10に示したメーカー発注／他店注文処理を説明するフローチャート

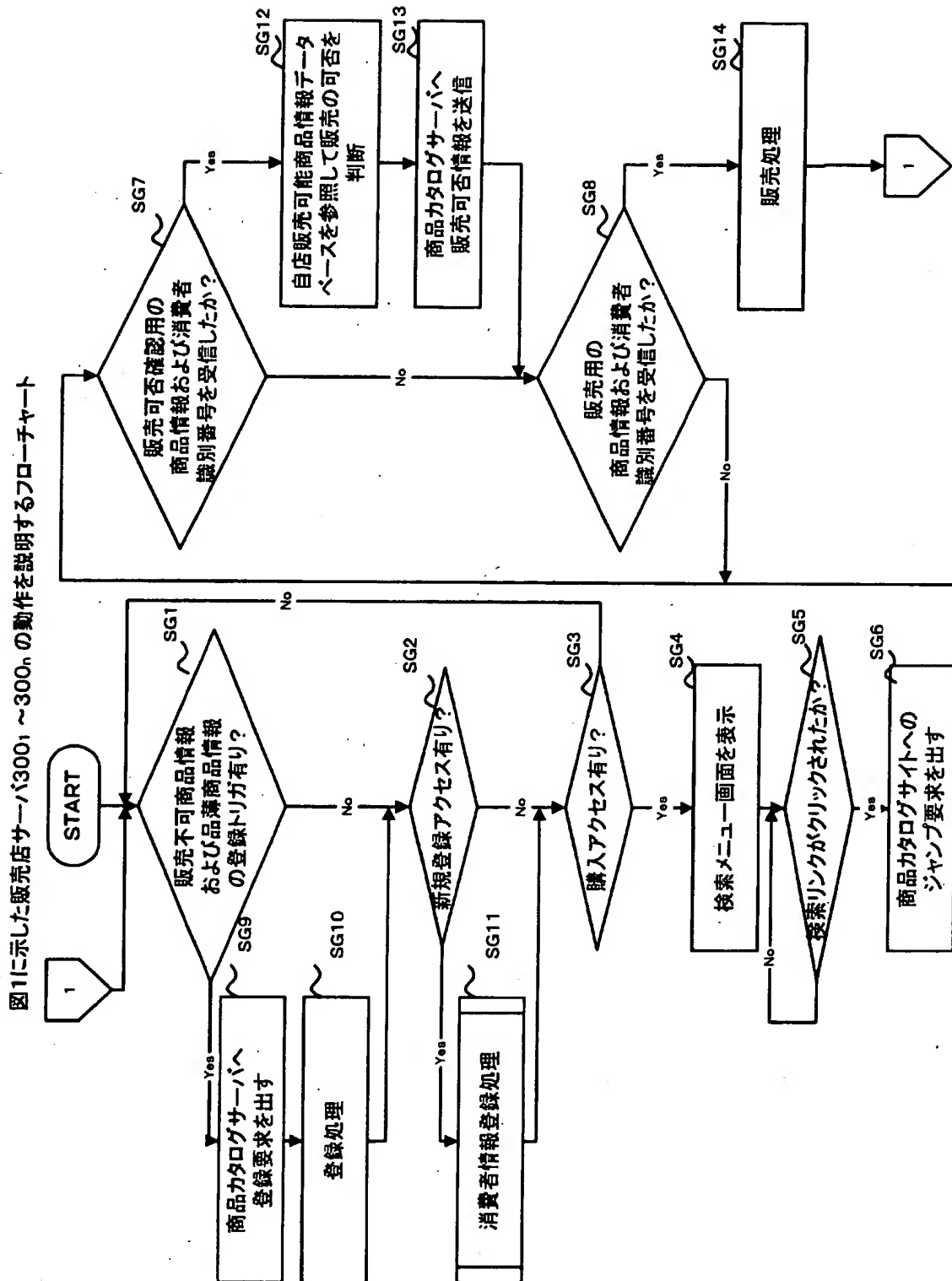


【図 1 3】

図8に示した紹介料精算処理を説明するフローチャート

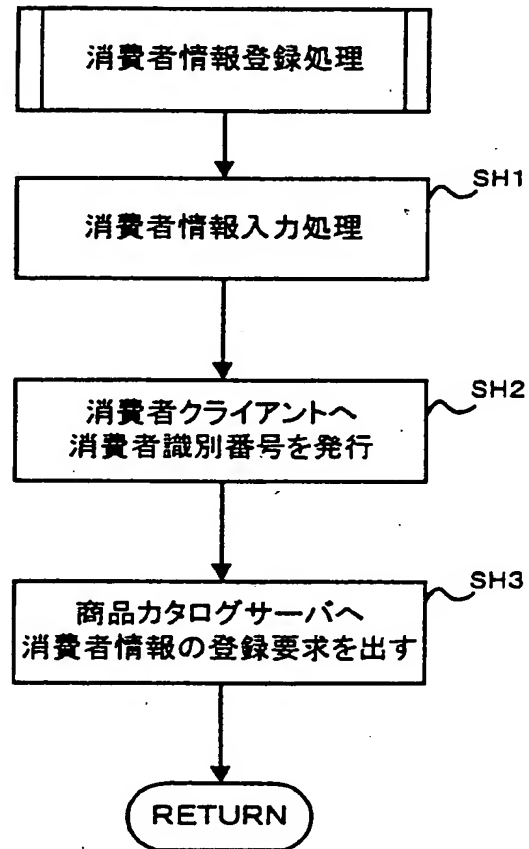


【図 14】



【図 1 5】

図14に示した消費者情報登録処理を説明するフローチャート



【図 16】

一実施の形態における他店販売不可商品一覧画面500を示す図

500

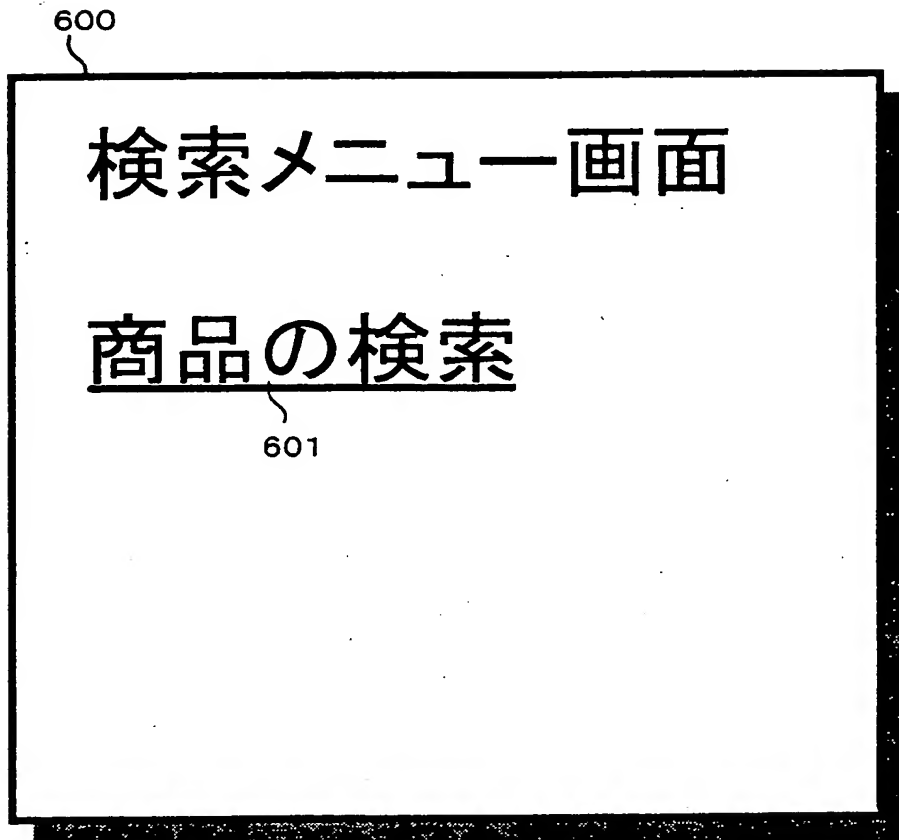
商品名	在庫有り	在庫無し
デジタルテレビ日米戦争	●	○
× × ×	○	●
× × ×	○	●
× × ×	●	○
× × ×	○	●

501

登録

【図 1 7】

一実施の形態における検索メニュー画面600を示す図



【図 1 8】

一実施の形態における検索画面700を示す図

700

検索画面

タイトル

アーティスト

曲名

ジャンル

701

検索

【図19】

一実施の形態における検索結果画面800を示す図

800

検索結果画面

商品一覧

- JUDY AND MAMY / The Great Escape 801
- JUDY AND MAMY / BE AMBITIOUS
- JUDY AND MAMY 作品集 (インストゥルメンタル)
- ブラザーズ / スピード

【図20】

一実施の形態における当店注文画面900を示す図

900

当店注文画面

商品詳細
ブラザーズ／スピード
キューン・ソニー KSD2 1086
1995年4月21日 1,020円

曲目
(1)スピード
(2)キモチE～ファミリー・アフェアー[YU
KI(JUDY AND MAMY)(cho)]
(3)スピード(オリジナル・カラオケ)

コメント
JUDY AND MAMYのYUKIが(2)に参
加。

901

当店注文

【図 2 1】

一実施の形態における自店購入画面1000を示す図

1000

自店購入画面(販売店A)

バスケット

メーカ	商品名	販売価格
KS	ブラザーズ／スピード	¥1,020

合計金額:¥1,020

1001

お買い上げ

【図 2 2】

一実施の形態における配送情報入力画面1100を示す図

1100

配送情報入力画面

配送先を入力してください。

165-0027

東京都中央区 × × ×

富士通 太郎

045-2365-1547

【図23】

—実施の形態におけるメーカー発注／他店注文選択画面1200を示す図

1200

メーカー発注／他店注文選択画面

「ブラザーズ／スピード」は、現在当店の在庫にはございません。

「ブラザーズ／スピード」を取り扱っている他店で注文する場合には、他店注文ボタンを押してください。

時間がかかりますが、メーカーに発注する場合には、メーカー発注ボタンを押してください。

商品詳細

ブラザーズ／スピード

キューン・ソニー KSD21086

1995年4月21日 1,020円

曲目

(1)スピード

(2)キモチE～ファミリー・アフェアー[YUKI(JUDY AND MAMMY)(cho)]

(3)スピード(オリジナル・カラオケ)

コメント

JUDY AND MAMMYのYUKIが(2)に参加。

1201

他店注文

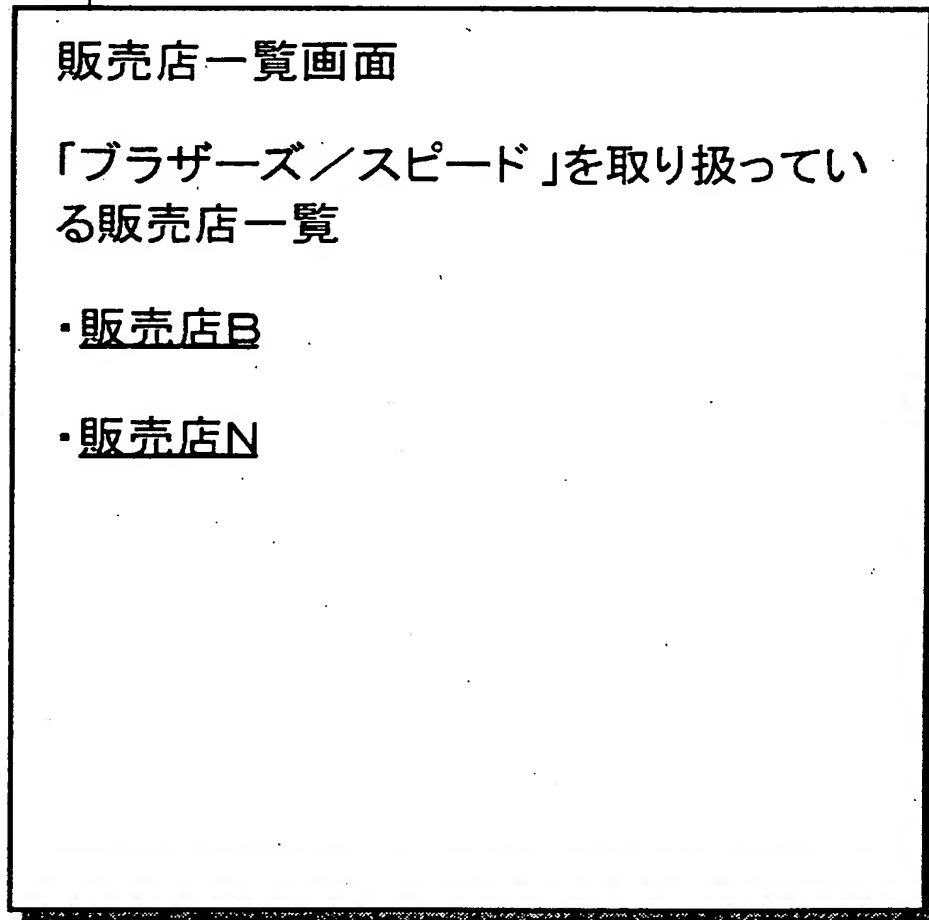
1202

メーカー発注

【図 2 4】

一実施の形態における販売店一覧画面1300を示す図

1300



【図 25】

一実施の形態における他店購入画面1400を示す図

1400

他店購入画面(販売店N)

バスケット

メーカー	商品名	販売価格
KS	ブラザーズ／スピード	¥1,020

合計金額:¥1,020

1401

お買い上げ

【図26】

一実施の形態における他店注文画面1500を示す図

1500

他店注文画面

「ブラザーズ／スピード」は、現在当店の在庫にはございません。

「ブラザーズ／スピード」を取り扱っている他店で注文する場合には、他店注文ボタンを押してください。

商品詳細

ブラザーズ／スピード

キューン・ソニー KSD2 1086

1995年4月21日 1,020円

曲目

(1)スピード

(2)キモチE～ファミリー・アフェアー[YUKI(JUDY AND MAMY)(cho)]

(3)スピード(オリジナル・カラオケ)

コメント

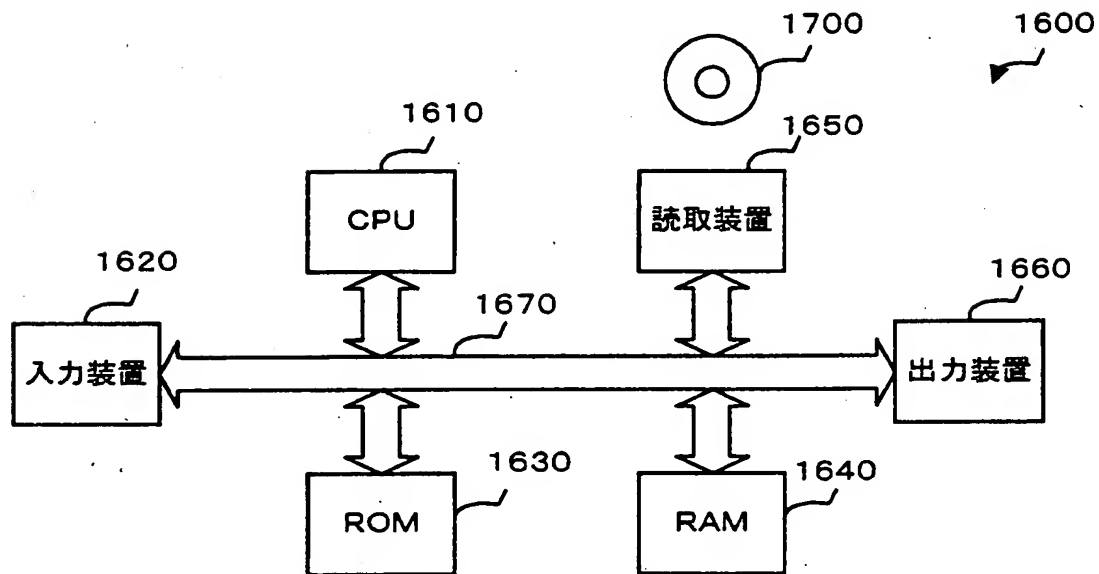
JUDY AND MAMYのYUKIが(2)に参加。

1501

他店注文

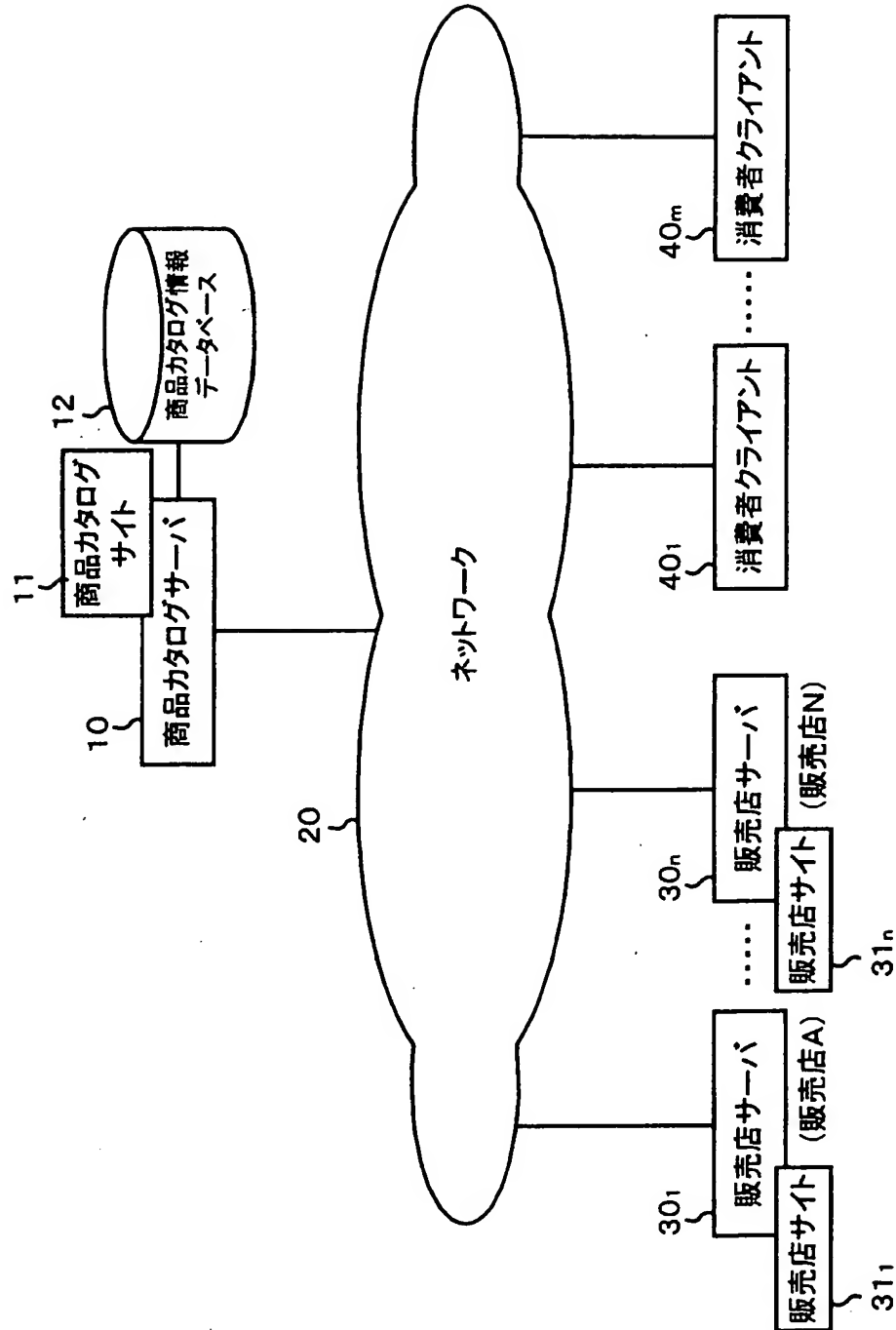
【図 2 7】

一実施の形態の変形例の構成を示すブロック図



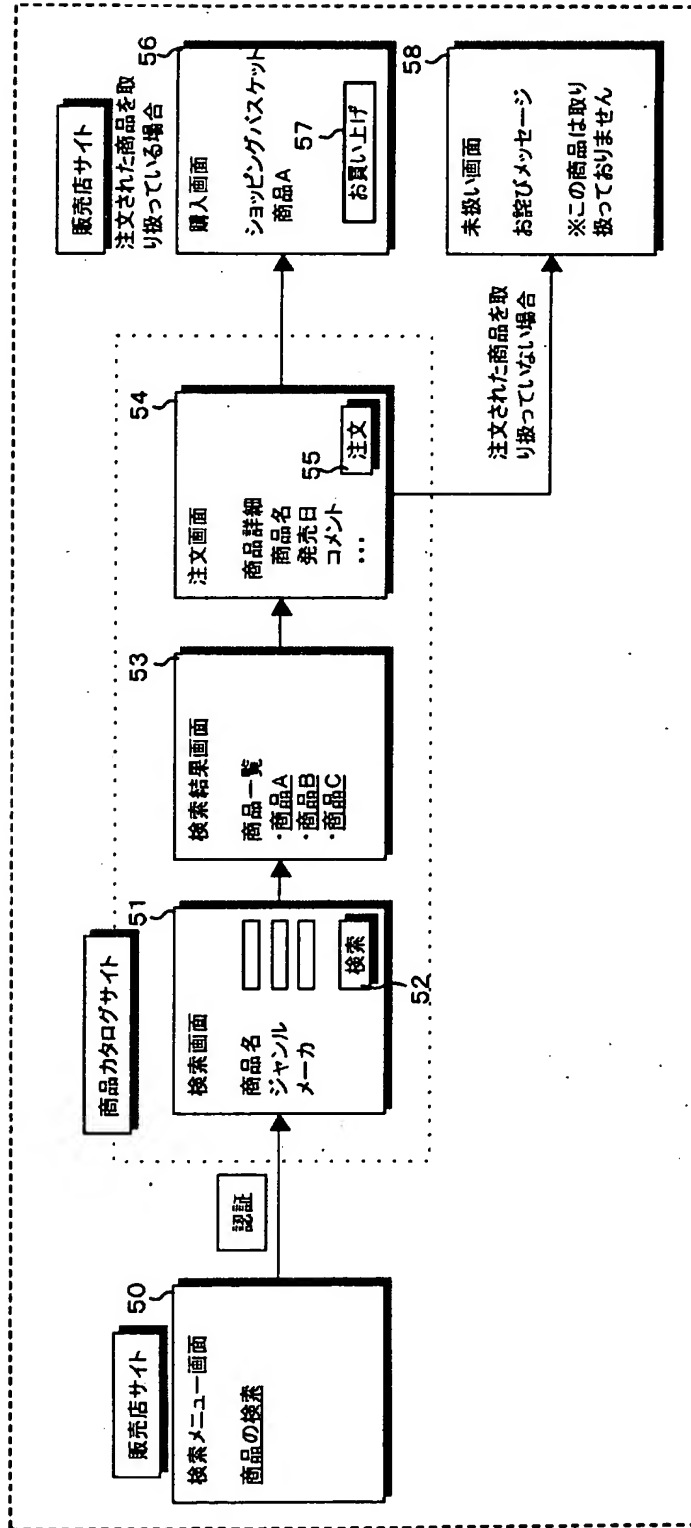
【図 28】

従来の商品販売システムの構成を示すブロック図



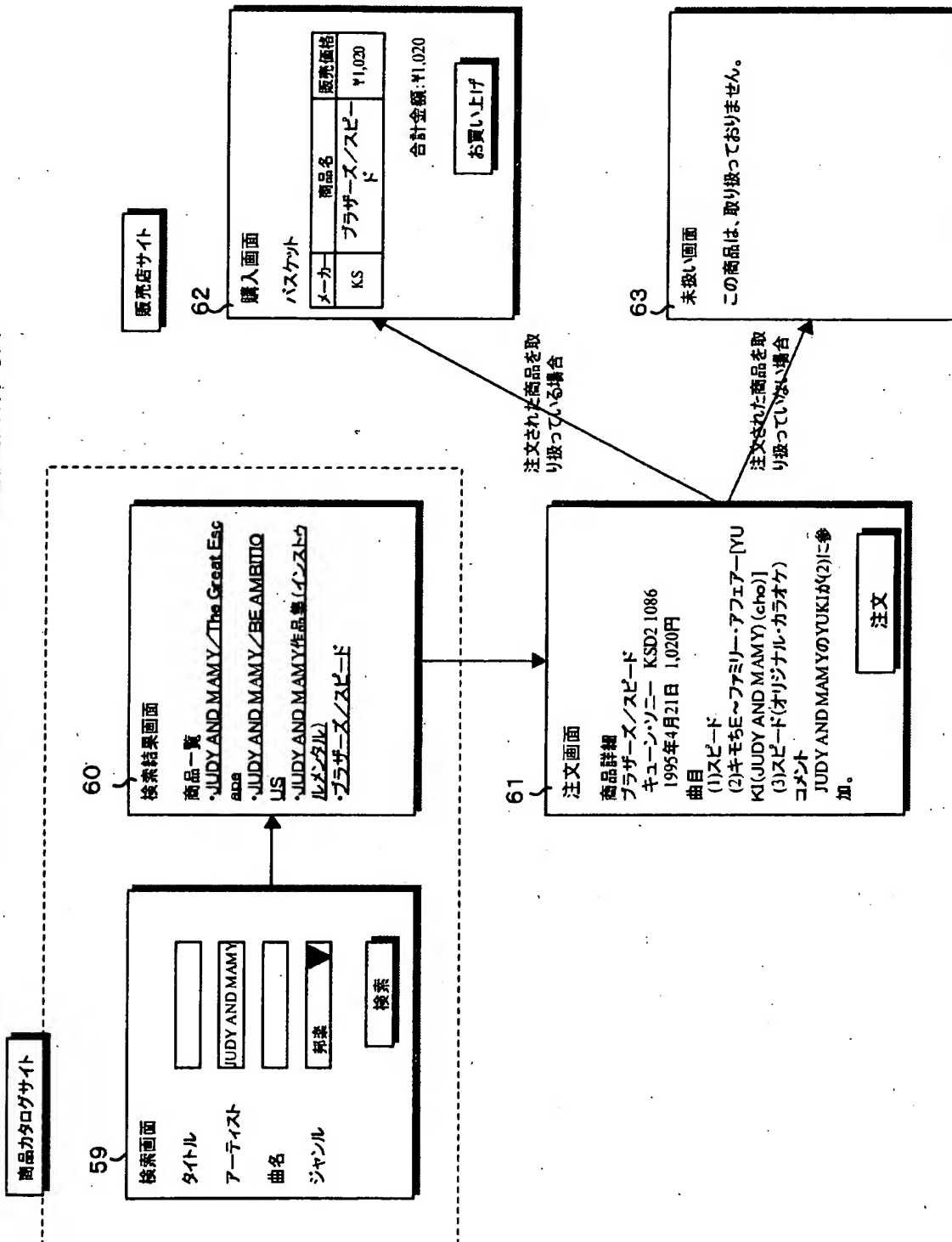
【図 29】

従来の商品販売システムにおける画面遷移を説明する図



【図 30】

従来の商品販売システムにおける画面遷移を説明する図



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 購入者の利便性を高め、商品販売を活性化させること。

【解決手段】 商品カタログサーバ 1 0 0 の制御部 1 0 2 は、販売店毎に販売不可である販売不可商品に関する販売不可商品情報データベース 1 5 0 を管理し、購入者が商品カタログ情報データベース 1 4 0 より選択した商品が、購入者がオンライン訪問した販売店（例えば、販売店 A）で販売不可商品である場合、当該商品を販売可能な他の販売店（例えば、販売店 N）に購入者を紹介する。

【選択図】 図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005223]

1. 変更年月日 1996年 3月26日
[変更理由] 住所変更
住 所 神奈川県川崎市中原区上小田中4丁目1番1号
氏 名 富士通株式会社